



(財)日本リトルシニア中学硬式野球協会
関東連盟東関東支部西千葉ブロック所属

市川リトルシニア 創立50周年記念誌

All For The Future Of The Players

市川リトルシニア創立五十周年記念誌



<https://www.ichikwaseniorbbt.com/>



チーム理念

～ *All For The Future Of The Players* ～

～ 全ては選手達の将来のために ～

【ビジョン】 (チームがある目的、活動を通してなりたい姿)

- ・子ども達が野球を通じて心身ともに成長する
- ・その活動を通じて関わる全ての人の心が豊かになる体験を生む

【ミッション】 (ビジョンを叶えるための目標)

- ・スポーツマンの育成
- ・日本一を目指す

【バリュー】 (行動指針)

- 尊 重** ・試合相手、審判、ルールを尊重するというスポーツの本質を理解する。
 ・色んな立場の仲間を尊重する優しさを持つ。
- 勇 気** ・出来ないと思えることに挑んでいく勇気を練習を通じて獲得する。
 ・成長の為にあらゆる機会によって自分を変える勇気を持つ。
- 覚 悟** ・昨日の自分より成長するという覚悟を持ってグラウンドに立つ。
 ・勉強と野球、両方足して100%ではなく両方とも100%努力する覚悟を持ち中学校生活を実践させる。
- 感 謝** ・関わる全ての人に感謝をし、それを形に表す。
 ・自分を高めてくれる道具、その中には動物の命をもらっている物もあるという理解、感謝の上で道具を大切に使う。
- 走姿顕心** ・走る姿は心を顕す。「走姿顕心」の気持ちを持ってグラウンドでは常に全力疾走で臨む。

● 目 次 ●

会長あいさつ	2
祝辞	3
各代紹介	20
座談会	38
過去の戦績	47
選手名簿	50
役員名簿	59
過去の写真	62



ご挨拶

御蔭様で 50 周年

市川リトル野球協会（リトルリーグ・リトルシニア）

会長 渋谷 晴光

このたびは市川リトルシニアリーグ 50 周年を又、市川リトルリーグは 55 周年の年を迎えました。この長きに渡る年月の内には歴代事務局長のポストは大変御苦勞をしていただきました。（現在は橋本事務局長であります。）又、1 年間の期間ではありますが父母会長及び婦人部長の職を設けました。又、父母の皆様方には大変なお手伝いや応援をしていただき選手達と大変良いコミュニケーションの場が出来たのではないのでしょうか。ありがとう御座います。又、現場グラウンド等では監督をはじめヘッドコーチ又、コーチングスタッフ、審判部の皆様方には心より感謝を申し上げます。

千葉県大会、東関東大会、関東大会、全日本大会等には、よく遠征を繰り返し各年代の選手達を育てていただきました。お蔭様で多くの選手が各有名高校に進学いたしまして甲子園大会に出場したりプロ野球の選手になり活躍をしてくれた事が大変うれしく思います。

横浜ベイスターズ現読売ジャイアンツ相川選手、西部ライオンズ GG 佐藤選手、又、西部ライオンズ～現ソフトバンク（現役）コーチの小川選手等私の知る内では多くの選手達が巣立ってくれ大変嬉しく思っている次第であります。また、長きにわたりお力添えをいただきました千葉ロッテマリーンズ山下徳人様、この度のシニアリーグの 50 周年式典に際しましてはこの方々を忘れてはいけません。

私に関わって下さいました歴代市川市長様、現在の田中甲市長はじめ思い出しますと 6 名程の市長様には大変御世話になりました。本当に有難うございました。又、当市川リトル野球協会初代後援会長の青山正様、佐藤フジエ様、現後援会顧問の鈴木衛様、市川市議会議員の後援会顧問国松弘樹様、心より感謝を申し上げます。

私事ですが、私が病気になってしまい 3 度の手術を行い長い期間木村副会長には忙しい思いをしていただき大変申し訳なく思っております。市川リトル野球協会の恒例行事として八幡神社にお参りをしてグラウンドに戻り、グラウンド開きを行い、もちつき大会、卒団式等、又、事務局、監督、コーチ、審判部、父母会との懇親会そして別れ、色々な方からの、叱咤、激励、称賛を頂いた事等が走馬灯の様に思い出します。これからは組織も益々充実してまいります。私はこれからも本物のボランティア精神を目指し青少年健全育成に向け努力を惜しまず務めてまいります。長い年月を振り返り歴代の監督及びコーチングスタッフ、又、各年代の役員のご協力に感謝を申し上げるとともに関係各位様、又、本日ご参集の皆様により一層の御指導、御協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げ、ご健勝を祈念し御礼のご挨拶といたします。



50周年を祝して

市川市長 田中 甲

市川リトルシニアが創立50周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

渋谷会長をはじめ、歴代の会長、役員及び関係者の皆様には、50年の長きにわたり野球を通して青少年の健全育成並びに本市のスポーツ振興にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

市川リトルシニアは半世紀にわたり、野球を通して子どもたちに夢と希望を与えること、そして健全な心と体を育てることを目標に掲げ、地域に根ざした活動を続けてこられました。多くの子どもたちが市川リトルシニアで汗を流し、友情を育み、野球を通じて成長してこられたことでしょう。そして、監督やコーチの皆様の熱意有る指導や、保護者の献身的な支え、そして何よりも子どもたちの努力によりチームは成長を遂げ、その後、数々の大会での優勝や入賞、地域リーグでの好成績など、多くの栄光を手に入れました。その戦績以上に誇らしいのは、このチームを通じて多くの子どもたちが学び、成長したことです。勝敗だけにこだわらず、仲間との協力や挫折を乗り越える力、そして感謝の気持ちを大切にする姿勢を、選手たちはここで多く学んだと思います。

この長い年月の中で、多くの指導者、保護者、そして選手がこのチームに関わってこれましたが、時代が移り変わっても変わらないものは「全ては選手たちの将来のために」というチームの理念です。これからもその理念の基、子どもたちの夢と未来を繋いでいかれることを切に願っております。

本市では「健康寿命日本一」を目指し、市民の健康度を高めるために様々な諸施策に取り組んでおりますが、その中でもスポーツによる健康づくりは最も重要であると考えております。とりわけ野球は、子どもから高齢者まで幅広い世代が親しめる生涯スポーツの代表と言えるものです。国府台公園内に建設中の野球場もいよいよ来春完成を迎えます。本市といたしましても、今後も多くの方々が野球を楽しむことができるような環境を整えてまいります。

結びに、渋谷会長をはじめ、市川リトルシニアを支える監督、コーチ、そして選手と保護者の皆様に心からの感謝を申し上げますと共に、今後のご活躍とご健勝を心から祈念申し上げまして、私からのお祝いの言葉といたします

祝辞



市川リトル野球協会顧問

前千葉県議会議員 **鈴木 衛**

市川リトルシニア創立 50 周年、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。渋谷会長をはじめ、歴代の役員・監督・コーチほか関係者の皆様方におかれましては、50 年の長きに渡り、野球を通じて青少年の育成にご尽力されていることに深く敬意を表する次第でございます。

50 年という歴史の中においては、喜怒哀楽、様々なことがあったかと思いますが、特に、ここ数年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により活動が制限され、チーム運営に苦慮されるなど、厳しい時期もあったかと思いますが、これを乗り越えてこられたことはすばらしく、一段とチーム力が高まっているのではないかと存じます。

野球人であるならば、一度は夢を見るのが甲子園出場であります。この夢を目標に変えて、厳しくもあたたかく指導されてこられた結果、多くの卒団生が甲子園出場を果たしており、更には、大学、社会人、プロでも活躍する選手を輩出していることは、まさに伝統のある名門チームの証であります。

加えて、市川リトルシニア卒団生であり車いすラグビーで活躍する羽賀選手が、日本代表としてパラリンピックに出場し、リオ、東京で銅メダルを獲得。そしてパリでついに悲願の金メダルに輝いたことは、チームの誇りであります。

このように野球以外でも活躍されている卒団生がいることは、チーム理念

All For The Future Of The Players

～ 全ては選手達の将来のために ～

のもとで、目先の勝敗にこだわるのではなく、将来を見据えた人材育成を行ってきた賜物ではないかと感じています。

引き続き次代を担う子供たちのため、野球は勿論ですが、将来、野球以外でも活躍できるそんな人材を育成してくださることを期待しています。私もその一助となるべく、誠心誠意努めてまいる所存でございます。

結びに、市川リトルシニアの益々のご発展と関係者の皆様方のご健勝、そして何よりも選手達が健やかに成長し、将来多方面でご活躍されることを祈念いたしまして、市川リトルシニア創立 50 周年記念に寄せる言葉といたします。



祝辞

市川リトル野球協会顧問

市川市議会議員 国松 ひろき

市川リトルシニアが五十周年という節目の年を迎えられましたこと、心よりお慶びを申し上げます。長きにわたり、渋谷会長を筆頭に少年野球の発展や成長、そして青少年の健全育成を推し進めてこられましたことを重ねて敬意と感謝を申し上げます。

私も何度となくグラウンドに足を運び、選手一同の心のこもった挨拶、目上の人への態度や言葉遣いなど、一人の人間として感心しております。それは日頃より役員や監督、コーチ・スタッフ、関係者や保護者の皆様のたゆまぬご指導の結果だと思えます。

昨今の子どもたちは新型コロナウイルス感染症の蔓延時期をうけ、必要以上の人との触れ合いができない状況で育ちました。成長するうえで大切な時間を、外にできない時期があり、さらには学校でもマスク着用、必要以上に会話をすることができないという激動の時代を過ごしてまいりました。そのような中でも選手たちは監督やコーチ、スタッフや保護者の方と調整して、できることを最大限努力し、数少ない会える時間帯にチームで練習を行い、選手自身が心と身体の成長に繋げてまいりました。二度と起きてほしくない時代でしたが、きっと選手の心にも、できることを行う大切さやコミュニケーションの大切さ、そのような時期を共に過ごした大切な仲間ができたことでしょう。そして当たり前には野球ができる環境は、当たり前ではないことを学び、すべての皆様に感謝ができる人になったのではないかと思います。

また選手だけでなく、役員や監督・コーチ、スタッフの皆様にとっても、厳しい時期であったと思えます。子どもたちを思い、何ができるのか、何をしてあげるべきなのか、様々な工夫をしてくれたことでしょう。そこで生まれた新たな連携や日常は市川リトルシニアを支える皆様の成長にもつながったことと思えます。その時に感じた思いや練習方法などが新型コロナウイルス感染症が5類に移行された今でも、皆様の大切な財産になっていることと思えます。とても厳しい時間を経験した皆様は一致団結する心や、乗り越える力を身に着けることができたと思えます。

そのような中、五十周年の節目の年に関係者の皆様の尽力で迎えられること、そしてそのような記念すべき日を一緒に過ごすことができることを光栄に思います。これから先も渋谷会長の尽力と関係各位皆様の努力によって、市川リトルシニアが六十周年、七十周年、百周年と歴史が紡がれていきますことを心よりお祈り申し上げましてお祝いの言葉とさせていただきます。



市川リトルシニア創立 50 周年祝辞

一般財団法人日本リトルシニア中学硬式野球協会関東連盟

理事長 三木 慶造

市川リトルシニアの創立 50 周年、誠におめでとうございます。

貴チームは千葉県では一番最初に関東連盟に加盟した歴史あるチームです。連盟創設の翌年 1974 年の第 2 回関東連盟秋季大会およびその年の 11 月に大阪万博球場で行われた東西対抗決勝戦で、いずれも好投手谷田部選手（現公益財団法人日本野球連盟（JABA）専務理事）擁する江東リトルシニアを破って優勝という輝かしい記録が連盟に残されています。

その後、時代の変遷に伴いスポーツの多様化や少子化、最近では中学校の部活動の低迷などさまざまな環境変化が起きる中、渋谷晴光会長はじめとする役員、指導者の不断のご努力により、今日まで 50 年という長きにわたり歴史を刻んでこられたことに心から敬意を表します。2000 年代初期から私が知る大滝、渋谷（佳）、河村、現宇野各監督の優れた指導のもと、全国選抜大会や日本選手権に出場するなど、チームは素晴らしい成績を残してこられ、OB は野球界各所で活躍し、皆立派に育っていると聞いております。審判部では山田元支部審判部長や須藤審判長など、関東連盟を代表する審判員が活躍されてきました。

昨 2023 年、関東連盟は 10 数年振りくらい久しぶりに新たなスローガン「マナー良く頂点を目指せ」を定めて活動してきました。コロナ禍で応援に声が出せなかった当時、応援は拍手だけでしたが、市川シニアの応援席からは相手のエラーで出塁、進塁したときに拍手が起きませんでした。選手や父母の応援まで統一しているマナーの良さに感心させられました。コンプライアンスにも留意して活動している宇野監督はじめ指導者、事務局の皆さんは、関東連盟の良きお手本だと常々感じております。

末尾になりましたが、記念すべき 50 周年の節目にあたり、市川リトルシニアがさらに高い目標に向かって歩み続け、ますますの発展と選手たちの輝かしい未来をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝辞

一般財団法人日本リトルシニア中学硬式野球協会関東連盟

東関東支部支部長 小松崎 政次

この度は、市川リトルシニア創設50周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。リトルシニア関東連盟 東関東支部の代表として、心よりお慶び申し上げます。

1974年の創設以来、野球競技の普及と振興に多大なる功績を残されました。この日を迎えられたことができましたことは、ひとえに歴代の役員をはじめ、監督、コーチ、審判員、運営スタッフ、そして保護者の皆様方の並々ならぬご尽力の賜物と深甚なる敬意を表します。

野球の技術指導はもちろんのこと、同年代の仲間たちとの交流、切磋琢磨によって多くの子供たちが貴チームから成長して、高校、大学、社会へと巣立っていきました。

近年の少子化、趣味の多様化による野球人口の減少は、各地域でも深刻な状況にありますが、貴チーム方針の「スポーツマンシップ」を学び野球を通じて将来社会に出るために大切なライフスキルを身につけるとともに、高校野球に通じる「心」「技」「体」の基礎づくりにより強靱な身体と健全な精神を養うという揺るぎない理念を継承されてきたからこそ、50年という数字は歴史に裏打ちされたものと考えます。

今後も、貴チームの良き伝統を継承しつつ、野球道に対する最新の考え方を常にアップデートされ、現代のリトルシニアの先頭を突き進み、より一層の飛躍をご祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。



市川リトルシニア 50 周年に寄せて

監督 宇野 誠一

この度の市川リトルシニア創設 50 周年、誠におめでとうございます。今まで関わってこられた全ての関係者の方々に敬意を表すとともに、50 年という長きに渡り平和という基盤の上で青少年育成の場として市川リトルシニアが存続してきて、今バトンを受け取れている事に感謝したいと思います。

3 人の息子がお世話になったこともあり、41 期の長男の時は保護者として、次男入団の 2015 年春からコーチとして、その後 2016 年の秋からは監督として関わらせて頂いています。

伝統を大切にしながらも、常に現状を見据え、未来を想像しながらチーム運営、指導を行なってきました。監督として関わらせて頂いた 44 期から今年の中学 1 年生の 53 期で 10 代の子どもたちの成長を見守っています。

50 年のうちのわずかな期間ですが、塩浜の地で子ども達と真剣勝負で向き合ってきて、多くの思い出が創れました。

2017 年の夏の全国選手権大会出場、2019 年春の全国選抜大会出場という良い成果を出せた時の事も心に残っていますが、全ての代の夏の最後の試合の敗戦時の子ども達の姿が目に残っています。

本当に真剣に勝負に臨み、惜しくも敗れた時の涙、美しくもあり、そしてその涙が彼らを強くするという事を信じて毎年毎年負けても立ち上がってきました。

関わる前の 40 年の先輩方達も同じ思いで取り組んで来られたのだと思います。

50 周年を迎える 2024 年は、51 期の 3 年生が春の千葉県大会を制して優勝旗を手にしてくれました。

また、夏の甲子園では OB 2 名が出場、井田くんは関東一高で準優勝、宇野くんは早稲田実業の主将として甲子園で活躍、日本代表としてアジア大会準優勝に輝きました。

OB 達の高校、大学、そして社会での活躍は私たちスタッフの一番の喜びです。そしてこの OB 達がグラウンドに帰って来てくれて後輩達に言葉を掛けて伝統を繋いでいく、そんな場所であり続けられるように引き続き日々真摯に活動して参ります。

毎年多くの子ども達を預けてくれる近隣学童野球チームの皆さま、OB 達の更なる成長に厳しく暖かいご指導を頂いている高校野球関係者の皆さま、取引先業者の皆さま、塩浜体育館の皆さま、塩浜近隣の住民の皆さま、など多くの皆さまに引き続きご支援頂きながら、市川リトルシニアは次の 50 年に向けて邁進して参りますので引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



ごあいさつ

総監督 渋谷 佳広

市川リトルシニアは50周年を迎える事ができました。これもひとえに多くの方々への支えによるものと改めて感謝申し上げます。また節目となるこの年にスタッフの一員として参加出来る事を大変うれしく思っております。私自身もOBであり、またコーチ、監督、総監督と長い年月の間このチームと関わってまいりました。この中で多くの選手やたくさんの方々との巡り会えたことは私の人生においても大変喜ばしい事であると同時に大きな財産となっています。私は日々の練習の中では野球の技術だけでなく高校野球に通じる「心」「技」「体」の基礎作りを中心に取り組んできました。特に「心」に対する指導は最も重要で難しい指導ですが、選手と本気で向き合い正解を見出していくものだと思っています。そして多くの巣立っていく選手が悔いの残らない高校生活を送り、その後の人生においても周りの人に頼られる人、応援される人になって欲しいと願っています。この伝統ある市川リトルシニアが更に成長するよう、今後も微力ながら支えていきたいと思っております。



ごあいさつ

渉外部長 大瀧 重雄

市川リトルシニア野球協会創立50周年おめでとう御座います。創部当時の諸先輩のご苦勞から50年。チームの継続に務めてこられた関係者、監督、コーチ、審判、OB、父母の理解と協力のお陰と深く感謝申し上げます。また、連盟関係者、お付き合いをさせて頂いているチーム関係者におきましては、これまでに増してのお付き合いをお願い致します。

市川シニアは、千葉県では一番古く、関東連盟でも二年目から参加した伝統あるチームです。創部の年に東西対抗大会に優勝し、野球選手権大会に三度、全国選抜大会に三度出場しています。市川シニアにおいては、野球の技術以外に学業、生活態度も大事にし、野球が出来ることに、また、両親、家族、グラウンド、道具等に感謝することも教えています。

私事ではありますが、1992年に息子がシニアのお世話になった御縁から今日まで市川シニアの活動に参加させて頂き、心より感謝しております。市川シニアの発展と継続を願っています



50 周年の祝辞

元監督 前田 隆良

皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この度は市川リトルシニアが創立されて 50 年という大きな節目の年を迎えられたということにあらためて、素晴らしい歴史を感じます。

私共と市川リトルシニアとの関係はおよそ 35 年前に仕事で転勤となって千葉県市川市に住むことで中学の硬式野球と出逢う流れとなりました。当時の印象は中学生の野球としてはかなり高いレベルの野球をするなと思い、このチームのお手伝いをしてみたいという気持ちになりました。私事としては転勤で籍を置いているため、いつ異動させられるかもしれないので、コーチという立場で協力するつもりでした。その中で父兄の皆様から監督を依頼され、半信半疑な気持ちでしたがお受けすることとなりました。

私の指導は特に変わった事をするわけではありませんでした。試合に対しては負けることが嫌いな人間で、とにかく練習は常に努力を怠らず時間をかけて納得するまで取り組んでいたことを思い出します。球児達も素直に付いてきてくれたのと、父兄の皆様が非常に協力してくださった結果が全国大会に出場するという道を築けたのだと思います。

最後になりましたが、市川リトルシニアの皆様のご旧来に増す活躍を心から祈念し、多くの先人と関係各位に深甚の感謝を捧げ、ごあいさついたします。



創立 50 周年記念のお祝い

副会長 元監督 河村 宏治

市川リトルシニア創立 50 周年の節目を迎えることに、心からお祝い申し上げます。

2010 年からこのチームで長年にわたりコーチ、監督、そして副会長として関わらせていただいたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

全国大会への出場にも何度も立ち会うことができ、さらには OB の皆さんが甲子園に出場する姿を目にすることもでき、多くの感動をいただきました。特に 2012 年にコーチとしてベンチに入った全国選抜大会は、非常に印象深く心に残っています。

子供たちと一緒に汗を流し、喜びや悔しさを共有し、共に成長することができたことは、私にとってかけがえのない宝物です。また、一緒に活動してきた全ての関係者の皆様との繋がりは、私にとって貴重な財産です。

引き続き新たな功績を築いていくことに挑戦し、市川リトルシニアの輝かしい未来を創り上げ、歩んでいくことを遠くからではありますが楽しみにしています。

改めて創立 50 周年、誠におめでとうございます。更なるご活躍を期待しています。



市川リトルシニア 50周年に寄せて

— 審判長としての経験

審判部長 須藤 芳彦

市川リトルシニア創設 50 周年、心よりお祝い申し上げます。この記念すべき節目に、審判長として寄稿する機会をいただき、大変光栄に思います。

私が市川リトルシニアに関わり始めた当初から、審判としてグラウンドに立つたびに感じるのは、選手たちのひたむきな姿勢と、チーム全体が一丸となって取り組む情熱です。50 年という長い歴史の中で、市川リトルシニアは多くの才能を育て、地域に深く根付いたチームとなりました。その成長を間近で見守ることができたことを、私は大変誇りに思います。

審判という立場で関わる中で、常に感じてきたのは「フェアプレー」の大切さです。市川リトルシニアの選手たちは、試合の勝ち負け以上に、スポーツマンシップを大切にし、相手へのリスペクトを忘れずにプレーしています。そうした姿を見守り、時には厳しい判定を下さなければならぬこともありましたが、それが選手たちの成長に繋がると信じて審判を務めてきました。

選手たちが試合に臨む姿勢は、年々進化していると感じます。技術の向上はもちろんですが、試合を通じて学んでいく「忍耐」や「協力」、そして「挑戦する心」は、彼らの人生においても大切な財産になることでしょう。私も審判長として、これからも公正であり続け、彼らの成長を後押しできるよう努めてまいります。

市川リトルシニアがこの先も地域に根ざし、次の世代へと受け継がれていくことを心より願っております。そして、これまで支えてこられた多くの指導者、保護者、選手の皆様に深い感謝を申し上げるとともに、さらなる 50 年の成功と発展を祈念いたします。



子供たちと共にチームの成長を

ヘッドコーチ 湯澤 直喜

創立 50 周年という記念すべき年を迎えられたことに、心からお祝い申し上げますとともに創立からリーグの発展にご尽力してこられた方々に深く敬意を表します。

50 年の間には多くの方々のご苦勞があったかと思えます。物事を「0」からスタートさせそれを継続して行くのは本当に大変な事だと思えます。

エネルギーに満ちた思いと行動力の有る方々がこの 50 年という歴史を作りあげて来たに違いはありません。

そんな歴史あるチームのスタッフ一員として携わり、第一に子供たちの成長の場で有る事また、チームと子供たちの成長は「スタッフ・選手・親」の三角形のバランス無しにはあり得ません。

子供たちと共にチームも親も成長し、人材が育つチームになる事を心からお祈りするとともに更なるリーグの発展とご活躍を期待します。



創立 50 周年おめでとうございます

コーチ 篠塚 真一

創立 50 周年おめでとうございます。これもひとえに、諸先輩方や OB の皆様が積み重ねてきた功績のおかげで、日頃からご支援をいただいている皆様にも心より感謝申し上げます。この記念すべき年に指導者としてチームに関わることができ、改めて身が引き締まる思いです。

指導者として大切にしていることは、野球をやりたいと思ってくれる子供たちへの感謝の気持ちと、野球を通じて彼らの成長に寄与したいという思いです。また、私たち指導者も自身の経験だけでなく、見聞を広め日々勉強を重ねることで、選手とともに成長させていただいていると感じています。息子二人も当シニアで野球を通じて人として大切なものを学び、現在も社会人や大学で野球を楽しんでいることを嬉しく思います。

最後になりますが、引き続き選ばれるチームであるために、皆様のお力添えをいただきながら、チーム市川が次の節目を迎えられることを心より願っております。



創立 50 周年誠におめでとうございます

コーチ 藤丸 大輝

市川リトルシニアが創立 50 周年を迎える記念すべき年にチームスタッフの一員として携わさせていただけることに心より感謝申し上げます。また、50 年という長い年月の間、数々の素晴らしい歴史を刻むことが出来たのは、これまでチームの運営に携わっていただいた方々ならびに、いつも市川リトルシニアを応援してくださる関係者、地域の皆様方のお力添えのお陰です。そうした中、このように記念誌に挨拶を掲載していただけること、恐れ多いですが、大変ありがたく、光栄に存じます。

私自身も市川リトルシニア OB ですが、現役当時から、本当に多くのことを学んできました。当時から「心を大切にしてください」と学び、「走姿顕心」という言葉が今ではチームの行動指針の 1 つであること、これもまた伝統が受け継がれている証だと嬉しく感じています。また、「目配り・心配り・心配り」を常に意識し、将来これらを兼ね備えた、無意識で出来る人間になりなさいとの言葉が、私の人生の心得ともなっています。この教えが、卒団後も仲間を大切に出来る多くのリーダーが、市川リトルシニアから多く誕生している理由だと感じています。

私がチームスタッフの一員となった今では、とても貴重な中学校生活 3 年間をサポートする立場として、重責を感じていますが、子どもたちの成長にはいつも驚かされています。気持ちを共にし、同じ仲間として過ごす選手たちとの時間では、共に笑い、時には涙しながら、子供たちの気持ちの優しさと強さが伝わり、たくさんの感動を貰っています。

そんな多くの感動をいつも与えてくれる子どもたちに、大切にしてほしいと願っているのは「出会いと縁」です。入団時に出来た「新友」は「親友」になり、辛い練習、悩みなどを乗り越え、「心友」になり、最後は「信友」になります。そして、次なるステージ「高校野球」では、応援してくれる方々に感謝し、「孝行野球」にしてほしいと願い、子供たちと接することを日々心がけています。

次の 100 周年に向けては、私もこの先の多くの「出会いと縁」を楽しみにしながら、チーム理念である「All For The Future Of The Players ~全ては選手達の将来のために~」を体現し、子供たちの成長、チーム発展のサポート・バックアップをしていきたいと考えております。引き続き、変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。



50周年おめでとうございます

福岡ソフトバンクホークス 小川 史

市川リトルシニアのみなさま、50周年おめでとうございます。わたくしは福岡ソフトバンクホークスの小川史と申します。

わたくしが小学校低学年のころ、父親が近所の子どもたちを集めて草野球をはじめ、のちに多くの方々の協力を得て、市川リトルリーグ、市川リトルシニアとして活動されることとなりました。小学校の低学年から野球にあけておりましたわたくしにとって、子どもころに楽しみながら野球ができたことが、わたくしの人生の礎となってお

ります。

毎日、毎日、暗くなるまで大声をだして球を追いかけて、泥だらけになって家に帰ると母親が晩ご飯を用意してくれており、真っ黒に汚れたユニホームやソックスを手洗いしてくれたものです。

当時は親のありがたみなどという考えはありませんでしたが、今思うと感謝の念でいっぱいです。

高校卒業時に運よくプロ野球選手として西武ライオンズへ入団でき、南海ホークス、ダイエーホークス、ソフトバンクホークスにお世話になることができました。選手を引退してからもいろいろな球団にお世話になり、現在も福岡ソフトバンクホークスにて仕事させていただいております。わたくしも60半ばとなりますので、近い将来には野球から離れることではと思いますが、これまでの野球人生は幸運のなかでやり切れたと思えます。

これからの子どもたちが心と体を鍛える場所として、市川リトルシニアが末永く存続するためにも、周囲の方々のお力添えが重要と思えます。これからも市川リトルシニアが多くの子どもたちの思い出に残る場でありませう心より祈念いたします。

短い文章ではありますが、50周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

創立50周年おめでとうございます



パリパラリンピック金メダリスト 羽賀 理之

市川リトルシニアの創立50周年おめでとうございます。これまで市川リトルシニアの活動を支えてこられた全ての方々へ敬意を表します。

私が市川リトルシニアに在籍していたのは1997年～1999年で、当時はまだ舗装も整備もされていなかった野鳥観察舎を通って、塩浜体育館のグラウンドまで通い、大瀧監督の指導のもとみんなで白球を追っていたのを思い出します。

私は今年開催された、パリパラリンピックに車いすラグビーで出場し、悲願の金メダルを獲得することができました。思えば、小中高校時代での野球の経験が、大きく今に活かしていると感じます。とりわけ、市川リトルシニアで全国大会に出場した経験は、やれば出来るという自信、チームが一つになる感覚と強さを教えてくれました。また練習に対する姿勢や、チーム競技に身を置くという部分でも、自分自身の礎がここにあると思っています。

市川リトルシニアを卒団して25年近くになりますが、当時の仲間とは今も交流があり、それだけ濃厚な時間を共に過ごすことができたのだと思います。

人それぞれ感じること学ぶことは違ってくると思いますが、野球を通して人生の礎ともなる貴重な時間を享受することができる、この素晴らしい場所が、今後60周年、100周年と続いていくこと、また関係の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

甲子園出場者からのメッセージ



第 96 回全国高等学校野球選手権大会

二松学舎高校 38 期生 **大黒 一之**

市川リトルシニアの 50 周年誠におめでとうございます。

市川リトルシニア出身として大変うれしく思います。

これまで市川リトルシニアを支え運営に携わって頂いたすべての方に感謝申し上げます。

私は市川リトルシニアで経験した事すべてが私の人生に活かされていると感じます。

24 歳まで現役で野球ができた原点といっても過言ではありません。

一番印象に残っている試合があります。

秋季関東大会でベスト 8 をかけた試合で世田谷西に 20 対 0 の大敗をしました。

全国大会出場が決まった中で、心が折れたことが昨日のように蘇ります。

上には上がいるのだなど。チーム全員がもっと練習しようとして団結した日でもありました。

あの試合があったからこそ現状に満足せず野球をやれた、まさに原点だと感じています。

市川リトルシニア出身の選手が野球でもそれ以外でも活躍している事、

そして市川リトルシニアの益々のご活躍とご発展をお祈りしております。



第 97 回全国高等学校野球選手権大会出場

専修大学松戸高等学校 39 期生 **河村 佳祐**

創立 50 周年おめでとうございます。

市川リトルシニアでは主将であり、キャッチャーのポジションを担っていました。

チームメイトと共に切磋琢磨し、全国大会に 2 回出場できたこと、東関東選抜に選出され台湾遠征に行かせてもらえたことは、今でも忘れることのない特別な経験です。

仲間との絆や勝利の喜び、敗北の悔しさは、それからの人生に大きな影響を与えてくれました。中学卒業後は、専修大学松戸高校に進学し、甲子園にも出場することができました。これも市川リトルシニアで学んだ経験があったからこそだと感じております。

指導して下さった渋谷監督をはじめ、スタッフの皆様、チームメイト、多くの関係者の皆様に、私の成長を支えていただきました。心から感謝申し上げます。これからもこの経験に感謝し、忘れることなく、頑張っていきます。

市川リトルシニアの皆様がさらなる飛躍をされることを心から願っております。

創立 50 周年本当におめでとうございます。



第 101 回全国高等学校野球選手権大会出場

國學院大學久我山高等学校 43 期生 岡田 和也

皆様は「スポーツ (sports)」の本来の意味はご存じでしょうか？ Sports とは 19 ～ 20 世紀にかけて世界で一般化した言葉であり、その由来はラテン語の「デポルターレ (deportare)」と言われています。デポルターレは「運ぶ」という意味を持ちますが、それが次第に転じて「義務からの気分転換」などの日々の生活から離れる気晴らしや遊び、楽しみという要素を指すようになりました。

つまり、これらがスポーツの本来の意義であり、スポーツは人生を楽しく、豊かにするための行為です。「好きこそ物の上手なれ」という言葉にもあるように、野球が大好きで楽しければ、より楽しむために勝利を追求し自分を追い込むこともできます。

長くなりましたが、これらは全て市川リトルシニアで学んだことです。レベルアップのために一緒に汗を流し、辛い時は親身になって相談を受けてくれるコーチやチームメイトがいます。私は市川リトルシニアで学んだ「楽しむ」という価値観はどのフェーズにおいても心の支えになっています。たとえミスをしてもしつかそれが笑い話になる時がくるよう、今を生き、楽しんでください！



第 105 回全国高等学校野球選手権大会出場

日本大学第三高等学校 47 期生 高坂 丈慈

この度は、市川リトルシニア創立 50 周年おめでとう御座います。47 期卒業の高坂丈慈と申します。現在は日本大学準硬式野球部に所属し、日本一を目指し活動しております。伝統のある市川リトルシニアの一員であったことに感謝すると共に誇りに思います。私の現役時代最後の年はコロナ禍と重なり次々と大会が中止になりました。当たり前が当たり前じゃなくなり野球ができる喜び、周囲の方々への感謝をより一層感じる機会となりました。高校では、私自身怪我に悩まされ、苦悩の日々でしたが私のことを応援してくださっていた市川リトルシニアのスタッフの方々がありました。とても力になりました。そして日本大学第三高校の一員として甲子園出場を果たすことができました。市川シニアの同期たちは野球を続けている者、留学した者、色々な道を進んでおります。市川シニアで培ったものは野球以外の所でも活き続けています。今後の市川リトルシニアの一層の発展をお祈り申し上げます。



第 105 回全国高等学校野球選手権大会出場

第 95 回選抜高等学校野球大会出場

専修大学付属松戸高校 48 期生

梅沢 翔大

市川リトルシニア 50 周年おめでとうございます。

48 期生卒業生で、専修大学松戸高等学校野球部に所属しています。昨年春夏と甲子園に出場をし、聖地に足を踏み入れることができたのは一生の宝物です。しかし簡単に行けるものではありません。個々の能力、努力、チーム力、運も必要だと思います。また自分たちだけで甲子園に行けたわけではありません。指導者や学校関係者、いつも見守ってくれている両親、様々な方々の支えがあってこそです。目標を持つ事も忘れずに。達成に向け努力し、考え、工夫するのが個の成長には必要です。最後の年に甲子園出場を逃した事には悔いが残りますが高校生活 3 年間の目標「150 km/h を投げる」を達成させた事がこれからにつながると思います。皆様も様々な事に挑戦すると思いますがいつも感謝を忘れず絶対に諦めないで挑み続けてください。これから更なる市川リトルシニアの発展をお祈りしています。



第 106 回全国高等学校野球選手権大会出場

早稲田実業学校高等部

2024 年福岡ソフトバンク入団 48 期生

宇野真仁朗

創部 50 周年おめでとうございます。48 期早稲田実業の宇野真仁朗です。市川シニア時代は全国大会出場を目標にしていたのですが、あと 1 勝で全国というところで 4 度の敗戦を経験しました。今思うと日頃から目標を見据えて本気で練習に取り組んでいたか後悔があります。この経験から早実では日頃の練習の際に常に甲子園出場という目標を口に出していました。また早実は練習時間が短く、自主練習が多いので全員の意識レベルが高くないと勝てないと思っていたので、どこにも負けないくらい全員がとことん考え抜き、練習をやり切りました。その結果甲子園に出場出来ました。

その成果の土台には市川シニアでの学びがあります。シニアでは全力疾走の重要性や考える野球等を学びました。私はこれからも野球を続けていきますが、市川シニアで学んだことを忘れず真摯に取り組んでいきます。今後も市川シニアの益々のご発展を祈念致します。



第 95 回選抜高等学校野球大会出場

第 106 回全国高等学校野球選手権大会出場

関東第一高等学校 48 期生 井田 裕士

関東第一高等学校の井田裕士です。第 106 回全国高等学校選手権に出場することができ、準優勝という結果を残すことができました。日々全国制覇という目標を掲げて練習してきた結果は準優勝で悔しい気持ちもありますが、甲子園という大きな舞台でプレーできたことを嬉しく思います。

高校野球で学んだことは練習することの大事さです。寮生活だったため全ての時間を練習に捧げてやってきました。振り返ればキツイことばかりでしたが今思えばやってきてよかったと思っています。どんなにキツイことがあっても諦めずに向かって練習すれば結果は絶対ついてくると思います。これからの野球人生も高校野球で学んだ経験を活かして更に成長していきたいと思えます。

このような経験ができたのは家族の支え、市川シニアの監督やコーチの教えなど周りの支えがあってこそできたと思います。周りの人への感謝の気持ちを忘れないようにこれからも頑張ります。



第 95 回選抜高等学校野球大会出場

中央学院高等学校 48 期生 小澤 遼大

私が甲子園出場からベスト 4 まで到達できたのは、市川リトルシニアで過ごした経験が大きな支えとなりました。

高校野球を続けていく中で一番大事にしていたのは試合や練習、普段の生活に対して真剣に向き合う姿勢です。

甲子園までの道のりで強豪校と対戦が続く中、自分を信じて楽しくプレーができたのもシニア時代から真剣に野球に取り組んできた結果が出たのだと思います。

これからの後輩たちへのアドバイスとして言えることは、自分を信じチームメイトを信じることです。自分のやるべきことをやり、チームメイトの気持ちを理解して同じ気持ちで試合に臨めば自分もチームも他の何倍も成長出来ると思います。

甲子園ではみんなから注目を浴び、物凄い歓声で鳥肌が立つような状況の中でプレーができて最高だったので、後輩のみんなにはぜひ甲子園でのプレーを目指して野球を頑張ってもらいたいです。



第 95 回選抜高等学校野球大会出場

中央学院高等学校 48 期生 岩崎 伸哉

私は高校に入り最初の方はずっと B チームにいました。1 日でも早く A チームに上がりたかったので誰よりも多く練習しました。そして 2 年生の秋背番号を貰えるよう必死にアピールしてなんとか 17 番を貰うことができました。その大会中に調子を上げスタメンで出れるようになりました。そこで私は大活躍をしてチームは優勝し関東大会でベスト 8 まで行き春の甲子園の出場が決まりました。甲子園は他の球場に比べてとても大きく感じました。やはり甲子園にはレベルの高い選手ばかりいて驚かされてばかりいました。それでもチームは準決勝まで行き 9 回表 2-4 で負けていましたがなんとか 2 アウト 2、3 塁と一打同点の場面まで持っていきました。その場面で自分に打席が回ってきてその時は絶対に打てると思い打席に立ちました。ですが結果はレフトフライで試合終了。応援してくれた仲間に申し訳なくて自分自身も凄く悔しかったけどそこでの自分の全力は出しきれたので後悔はありませんでした。私は甲子園の舞台に立ち今まで以上に野球を好きになりました。中学生の皆さんも甲子園目指して頑張ってください。

現役大学生からのメッセージ



早稲田大学 46期 佐藤 莞汰

令和2年卒、46期の佐藤莞汰です。現在は早稲田大学野球部に所属しております。今回寄稿するにあたって、市川シニアで過ごした3年間の回顧してみました。一日中基礎練習をしたこと、丸一までのランニング、台湾遠征、大阪の選抜での3試合、夏あっさり負けたこと、今思い返しても濃密な3年間であったと感じます。その中でも今になって思うのが、いかに私たちが保護者の方に支えられていたか、ということです。配車やお茶当番、金銭面でのサポート、時にはネットの補修など慣れないこともしていただきました。貴重な休日である土日の時間をシニアの活動に割いてもらったことに感謝しています。

最後になりますが、今後の市川シニアの益々のご発展をお祈り申し上げます。



千葉経済大学 46期 松尾 峻平

令和2年卒、46期の松尾峻平です。現在は千葉経済大学に所属しています。今回寄稿するにあたって、市川シニアで学んだことについて述べたいと思います。

野球の技術面はもちろんですが、それ以上に感謝、礼儀、物事に対しての向き合い方を学びました。特に感謝を大切にしてください。今野球ができていることを当たり前だと思っははいけません。両親、監督、コーチ、父母会の皆様のサポートのおかげで野球ができています。その状況に感謝をして思いきりプレーをしてください。私があげたこの3つは些細なことですが、現在私が大学野球だけでなく社会生活でも生かされています。

最後になりますが、今後の市川シニアの益々のご発展をお祈り申し上げます。

PLAYERS & HISTORY

36 期



メンバー

延松 健司	日高 隼	永浜 秀紀	安藤 大峻	木島 拓哉	滝 光太
滝 彰太	向後 大輝	宮澤 達也	赤木 良輔	栗林 祐太郎	相馬 克稔
高瀬 薫	渡辺 貴斗	石丸 友隆	吉田 雄真	原 晃輔	西川 将兵

主な戦績

・第2回読売新聞社杯 優勝



PLAYERS & HISTORY

37 期



メンバー

堂園 晃揮	箱崎 圭亮	志賀 仁	秋道 大樹	島袋 渉	渋谷 大輔
西田 浩士	河村 将治	廣藤 輝	古野 広大	安富 拓也	長谷川 竜也

主な戦績

- ・千葉県マイナー大会 第4位
- ・秋季東関東大会出場
- ・春季東関東大会出場
- ・夏季関東大会出場

メンバーからメッセージ

市川シニアの50周年を迎え、心よりお祝い申し上げます。半世紀もの間、地域に根差し、多くの子供たちに野球を通じて成長の機会を提供し続けてきた市川シニアの活動は、まさに地域の誇りです。

私は、このチームの一員として数々の経験を積み重ね、仲間との絆を深めました。試合での勝利の喜びや、悔しさを分かち合う中で、忍耐力や協調性の大切さを学びました。コーチの皆様の熱心な指導や支えがあったからこそ、今の自分があると感じています。

市川シニアは、単なる野球チームではなく、仲間と共に成長し、挑戦を続ける場所です。これからも多くの子供たちがここで夢を追いかけ、成長していくことを願っています。

最後に、これまで支えてくださったすべての方々に感謝の気持ちを込めて、今後ますますの発展をお祈り申し上げます。 2011年卒団生一同 (河村 将治)

PLAYERS & HISTORY

38 期

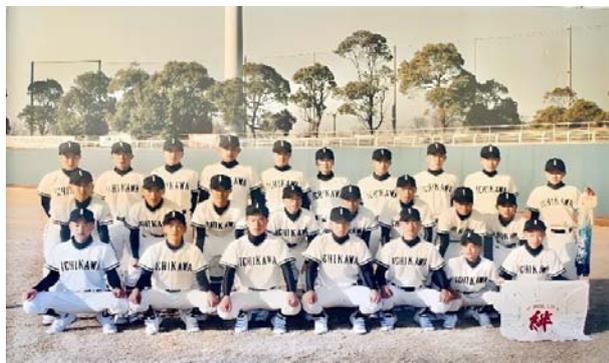


メンバー

杉澤 熙人	中森 清登	椎橋 広貴	御前 将之	竹内 智	大黒 一之
安富 雄斗	前川 慶太	本宮 佳汰	三浦 良貴	森 雅飛	清瀬 龍一
指出 大暉	小林 友大	小坂 飛馬	井坂 鷹優	阿部 慎太郎	江口 弘馬
村上 大成					

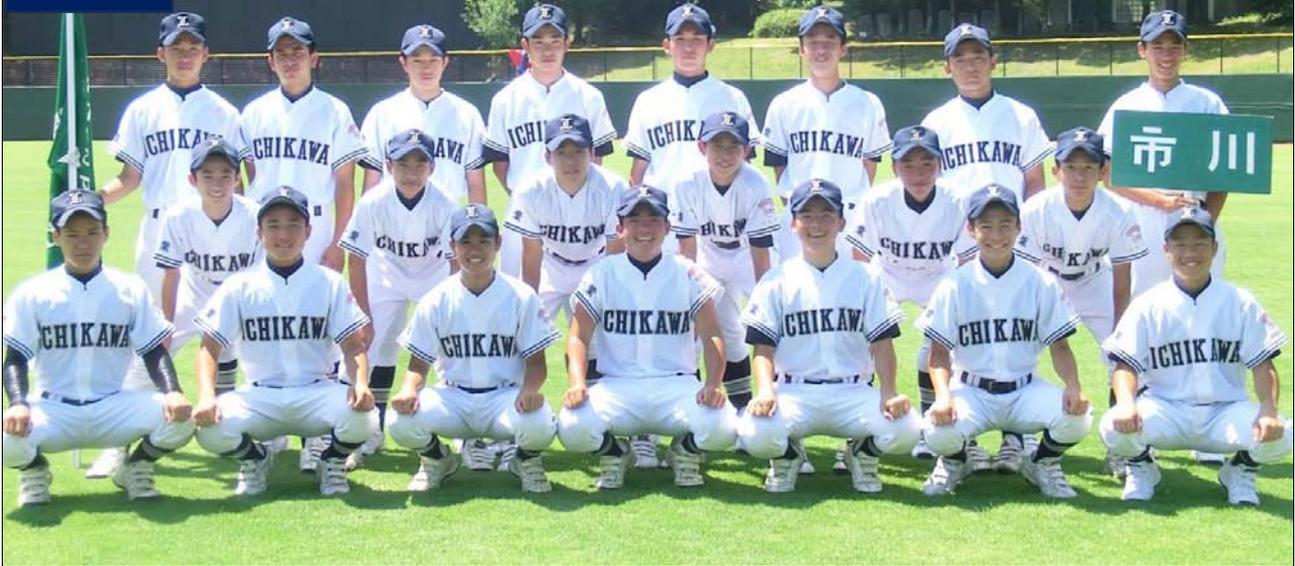
主な戦績

- ・東北・関東大震災支援大会兼第 17 回日本リトルシニア全国選抜野球大会出場
- ・2010 年度 秋季関東大会出場



PLAYERS & HISTORY

39 期



メンバー

河村 佳祐	野口 智優	高岩 冬馬	志治 佑眞	中嶋 凌佑	庄司 祐太
黒田 達海	橋本 啓亮	牧垣 洸樹	長田 卓	金子 侑生	森 政宗
渋谷 尚輝	大竹 健斗	松川 理久	児玉 啓太	渋谷 祐太	宇治 建太郎
池田 彰希	武藤 伶	吉積 翔吾			

主な戦績

- ・ 2011 年 秋季関東大会出場
- ・ 2012 年 第 18 回全国選抜野球大会出場
- ・ 2012 年 東関東支部春季大会優勝
- ・ 2012 年 日本リトルシニア第 3 回林和男旗杯国際野球大会出場



PLAYERS & HISTORY

40 期



CHIBA LOTTE MARINES CUP 2013

メンバー

竹田 樹	小山 裕輝	小泉 将樹	西澤 輝	島袋 勇人	小暮 豪
高見澤恭秀	脇ノ下優希	箕島 功一	小林 功汰	高橋 大和	高山 乃安
宮田 大渡	相川虎ノ介	羽澤 宥大	坂上 玲矢	田中 大資	高瀬 翔

主な戦績

- ・ 2012 年度 秋季関東大会出場(あと一勝で全国選抜を逃す)
- ・ 2013 年度 春季関東大会出場
- ・ 2013 年度 夏季関東大会ベスト 16 (あと一勝で全国大会を逃す)



～中 2～



～卒団式 集合写真～



～支えてくれた母たち～

PLAYERS & HISTORY

41期



Now or never, Get victory by the power of 32 players



メンバー

阿部 航樹	谷口 洋輔	河野 拓歩	真田 啓伍	石川 徳之	戸倉 健
篠塚 勇汰	北川 達也	芳賀 一久	渋谷 拓生	小泉 雄暉	石田 哲太
内川 海斗	本田 啓将	森脇 和輝	宇高 大河	宇野 隼太朗	高橋 幹太
三谷 文翔	志田 敏英	梶浦 真人	福島 駿佑	原 彰吾	西岡 佑十
原田 優真	塩川 大晟	齊藤 海斗	岩瀬 駿	富田 彪斗	平石 健太
菊池 陸	土屋 健太				

主な戦績

- ・ 2013 年度 秋季関東大会出場
- ・ 2014 年度 春季関東大会出場



PLAYERS & HISTORY

42 期



メンバー

芳賀 裕二	畑野 晃大	下田 雄人	増田 龍一	向後 裕太	石山 将大
小山 智晴	小林 央季	山口 大輝	中村 陵祐	笹田 健人	神保 大志
峯村 誉範	近藤 有翼	坂本 仁			

主な戦績

・第 8 回読売新聞社杯兼第 37 回日本リトルシニア野球千葉県大会 第 3 位



PLAYERS & HISTORY

43 期



メンバー

宮崎 健人	小林 裕太	河野 瑞生	熊本 凜太	小林 勇輝	鈴木 陸斗
内山 翔勝	小熊 惇生	岡田 和也	野崎 凧斗	菅野 凧	西川 敦貴
白井 隼	横大路 和希	高橋 陸翔	田口 和希	坪井 秀斗	島袋 尊
脇ノ谷 海里					

主な戦績

- ・ 2016 年 CHIBA LOTTE MARINES CUP ベスト 8
- ・ 2016 年 第 5 回東日本選抜野球大会 ベスト 8

メンバーからメッセージ

市川リトルシニア創立50周年、心よりお祝い申し上げます。
 長年にわたり支えこまれた全ての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。
 選手たちの絶え間ない努力、監督、コーチやスタッフの指導、そして父母の皆様の温かい応援が今日の市川リトルシニアの繁栄につながっています。
 この歴史ある節目にあたり、過去の栄光と共にこれからも輝かしい未来への飛躍を心から願っております。

PLAYERS & HISTORY

44 期



メンバー

宇野 竜一郎	郡司掛 晃	石橋 柊人	菊間 修介	伊能 隼也	遠藤 樹生
阿部 幸多	塘永 慶虎	横山 公秀	相川 大斗	田中 憧太郎	篠塚 太稀
竹ノ谷 圭寿斗	高崎 大和	高橋 亮太	山口 峻也	上田 優翔	江見 勇真
田中 壮志	篠田 寛貴	横塚 和亮	相川 真輝	館 幸学	

主な戦績

第 45 回 日本リトルシニア 日本選手権大会 2 回戦進出
 関東連盟 夏季大会 ベスト 16
 東関東支部 春季大会 ベスト 8
 東関東支部 秋季大会 準優勝



PLAYERS & HISTORY

45 期



メンバー

深見 好誠	正部 大成	塚本 紘大	上甲 大貴	山口 達也	舌間 優作
茂木 颯太郎	向川 ヒカル	由利 翼空	上田 晃大	横塚 和政	野々山 勇大
殿井 陸也	佐藤 龍哉	坂口 慶龍			

主な戦績

- ・ 2017 年度 秋季関東大会出場
- ・ 2018 年度 第 11 回読売新聞社杯兼第 40 回日本リトルシニア野球千葉大会 準優勝
- ・ 2018 年度 ジャイアンツカップ千葉予選 準優勝



PLAYERS & HISTORY

46 期



メンバー

堀部 康平	松尾 峻平	高田 莉玖	小林 幸誠	佐藤 莞汰	坂牧 映都
片倉 裕文	田内 康之助	伊能 竜也	木下 翔馬	池座 耀星	中島 大輝
芳賀 功輝	藤本 航平	高橋 蛍冬	高師 暖人	山田 怜央	久間 滉介
金山 直人	白石 匠	杵尾 良幸	松丸 璃玖	笹田 悠人	根本 騎平
古川 晴智	金子 波留人	齋藤 海友	佐藤 なつみ		

主な戦績

- ・ 第 25 回 日本リトルシニア全国選抜野球大会出場 ベスト 16
- ・ 2019 年度 秋季関東大会出場 ベスト 16 東関東支部秋季大会 第 3 位
- ・ 2020 年度 春季関東大会出場 ベスト 16



PLAYERS & HISTORY

47 期



メンバー

上甲 和人	西山 翔太	小原 龍哉	田尻 晩成	志路 拓真	佐久間 佳希
飽田 慈英	伊東 夢生	岩崎 佑哉	加藤 大輝	河合 航洋	西村 凌空
今井 裕治	高坂 丈慈	谷田 虎太郎	大串 和哉	黒田 陸	上田 悠太
藤田 康聖	高木 光希	西澤 昴大	涌嶋 陽太	石原 仲也	小林 亮太
宮城 光呂	小林 夢行	有本 大輝	堀口 太輝		

主な戦績

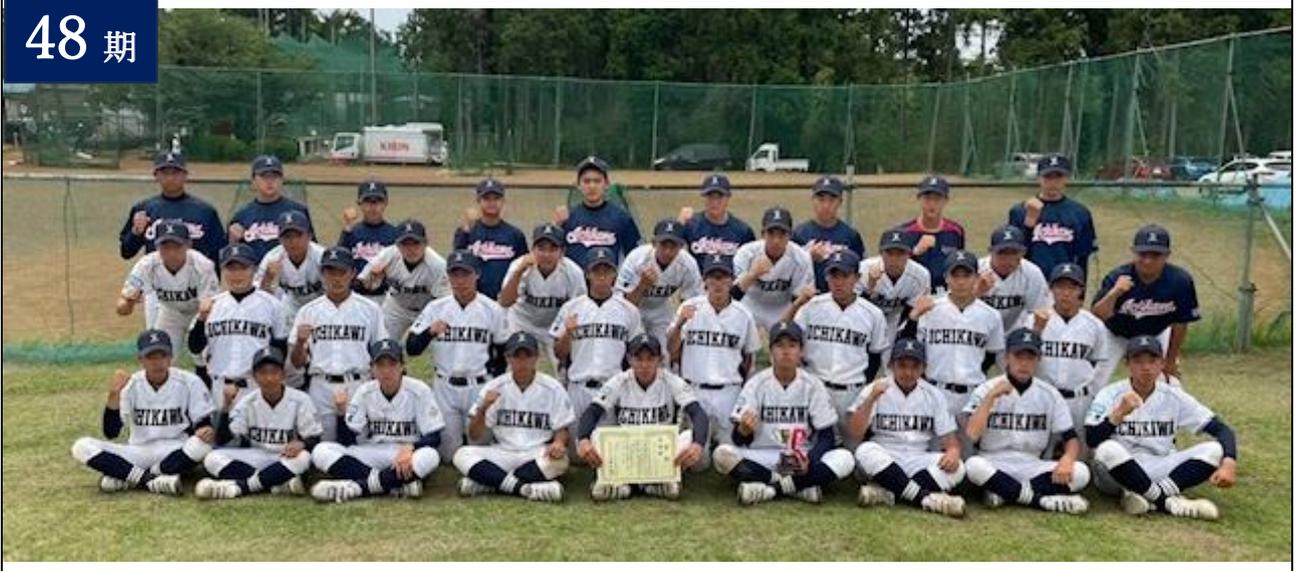
- ・ 2019 年度 東関東支部秋季大会 準優勝
- ・ 2019 年度 秋季関東大会出場
- ・ 2020 年度 第 48 回日本選手権予選東関東大会支部大会準優勝

メンバーからメッセージ

私にとって市川シニアで過ごした三年間は何にも変え難い貴重でかけがえのない時間でした。コロナ禍で練習や試合に制限があり、野球がやりたくても出来ないという時期もありましたが、その経験が、野球が出来る事が当たり前ではないという事を気付かせてくれました。また、コロナ禍でも支えてくれたスタッフ、コーチ、父兄の皆さんの存在が自分の大きな励みになりました。市川シニアでの野球を通して様々な人と出会い、その出会いが私の人生を大きく変えました。29人の同志、私の強い、よく言えば個性豊かな仲間との出会いが私を成長させてくれました。時にはまとめることが難しく、頭を悩ませる時もありましたが、それも今では良い思い出です。彼らは自分を高めへと連れて行ってくれた仲間であり、ライバルであり、今でも連絡を取り合う一生の宝物です。監督、コーチ、スタッフの暖かくも厳しい指導と野球の魅力、楽しさを教えて頂いた事に深く感謝しています。今、私はアメリカで本場のベースボールを体感しています。言語も文化も違う国での生活は肉体的、精神的に厳しい事もありますが、私をここに導いてくれたのも市川シニアで過ごした三年間があったからこそだと実感しています。このアメリカでの経験を活かし、世界のどこにいても、一生野球に携わって行きたいと思っています。本当にありがとうございました。 第47期主将 今井裕治

PLAYERS & HISTORY

48 期



メンバー

上野 翔斗	宇野 真仁朗	阿部 成陽	松川 和真	本間 陸人	横山 匠太
三浦 悠二郎	橋本 夏侑	山口 偉瑳	林 真守	佃 孝太	大谷 侑輝
金子 駿	秋山 秀太	重野 塁	石川 晴将	山崎 大地	金子 竜也
岩崎 伸哉	米長 竜志	小澤 遼大	野原 大快	多田 隆之介	白坂 寛
石渡 悠太	鈴木 志磨	若林 力丸	坂上 龍晴	平川 蒼也	三好 拓滋
梅澤 翔大	風見 裕介	阿部 鼓太郎	井田 裕士	深瀬リュージ	加藤 蒼太

主な戦績

- ・ 2020 年 千葉日報杯新人大会 準優勝
- ・ 2020 年 王道家杯 東関東支部秋季大会第三位
- ・ 2020 年 ミズノ旗 関東連盟秋季大会 ベスト 16
- ・ 2021 年 日本選手権予選 夏季関東大会（東関東） 準優勝



PLAYERS & HISTORY

49 期



メンバー

窪田 竣介	田中 聡一	赤塩 裕哉	河浦 颯翼	佐々木 蒼	藤嶺 幸太郎
河又 勇陽	中嶋 隼啓	佐藤 大悟	山本 知樹	蓑島 瑠偉	長友 航太郎
山崎 結人	岡 慶政	稲葉 颯来	島内 駿弥	金子 航太	森川 嵩広
長島 共希	高岡 煌音	五十嵐 蒼空	野橋 大和	吉川 響	田中 嵐士
伊賀野 凌	舌間 恒作	工藤 颯人	高橋 昊成	渡邊 太地	吉野 楓汰
町山 翔心	佐藤 祐太	得能 佑経	酒井 煌季	木島 匡	

主な戦績

- ・2021 年度 千葉日報社杯新人大会 優勝
- ・2021 年度 秋季関東大会出場
- ・茨城日産カップ 3位



PLAYERS & HISTORY

50 期



メンバー

三谷 凜多朗	伊藤 充輝	和久田 蓮叶	海老原 涼亜	森本 颯人	佐藤 弘規
菊川 翔聖	石郷岡 歩希	高貝 規仁	村田 才橘	佐藤 馨太	山本 凌央
渡辺 憲心	吉野 碧斗	龍田 悠仁	二宮 悠世	小倉 透	石井 太崇
鈴木 雄大	関 好輔	清水 波音	武藤 慧		

主な戦績

- ・ 2022 年度 王道家杯東関東支部秋季大会 第 3 位
- ・ 2022 年度 秋季関東大会出場

メンバーからメッセージ

市川リトルシニア 50 周年おめでとうございます。

2024 年 3 月に卒団し、直後の 4 月から高校野球が始まり半年が経ちましたが、市川シニアで学んだ事が多くの場面で活かされています。

それだけ中学 3 年間で高校野球に近い事を学んでいたのだなと感じると共に、改めて市川シニアで野球が出来て本当に良かったと思っております。

50 期一同、監督をはじめスタッフの方々に良い報告が出来るように頑張ってお参ります。

50 期主将 佐藤馨太

PLAYERS & HISTORY

51 期



メンバー

兼重 武尊	内川 陸	堀部 照太	浅川 凜太郎	小澤 航大	田中 瑠夏
白坂 響	高橋 敦成	財前 海	立川 真大	大谷津 光希	堀木 仁之亮
長谷川 航大	和田 爽汰	若色 颯太	小林 優斗	山田 習太	高久 政暖
熊川 玲央	船渡 洋海	岡本 雄輔	末廣 俊太郎	根本 有馬	菅原 稜生
間中 来雅	関 龍志郎	菅原 秀伸	金高 光希		

主な戦績

- ・ 第 17 回読売新聞社杯兼第 46 回日本リトルシニア野球千葉県大会 優勝
- ・ 2023 年度 秋季関東大会出場
- ・ 2024 年度 春季関東大会出場



PLAYERS & HISTORY

52 期



メンバー

高田 留碧	齊藤 桂太	松川 佳生	小林 一希	町山 拓心	檜山 泰士
多田 漣之介	吉野 太輝	高坂 律樹	三國 大芽	小川 晃雅	佐藤 綾真
小林 獅生	石井 鳳介	安藤 友喜	中原 圭信	篠宮 航介	北室 清陽
神尾 隼虎	須藤 俊希	古本 士竜	谷田 京太郎	吉岡 颯太	井戸 晴音
安藤 名和哉	小泉 愛翔	所 亮輔	泉水 莞爾	山崎 海翔	矢部 律希
永沼 慧	前谷 悠斗	鈴木 喜仁			

主な戦績

・2024 年度 秋季関東大会出場



PLAYERS & HISTORY

53 期



メンバー

國藤 颯太	兼重 輝尊	増田 凱心	中山 寛人	大串 渚	二宮 隼人
和久田 爽人	福田 翔吾	吉田 英弥	森 脩成	長谷川 湧人	小林 拓海
坂本 悠馬	岡本 絆志	小松 夢騎	村松 拓真	木村 颯汰	山口 晴太
高橋 雄音	二川 大雅	大和田 優斗	平戸 康太郎	遠藤 龍優	山崎 晃大



【特別企画】

市川シニアOB座談会 | 今も忘れない、市川シニアでの思い出

市川シニア創設 50 周年を記念して、世代の異なる卒団生たちによる「市川シニアOB座談会」が行われました。集まってくれたのは、卒団後に主将や組織を束ねる立場などを経験し、現在も選手、指導者として野球に関わり続けている 5 人の卒団生たち。

負けて悔しかった試合やきつかった練習のこと、今だから話せるあの話しなど、青春時代の 1 ページに刻まれた市川シニアでの思い出をたっぷり語ってもらいました。

【座談会参加者】

[市川シニア 36 期]

藤丸大輝 (31 歳)

千葉日大一→日本大学

(現・市川シニアコーチ)

[市川シニア 38 期]

渋谷大輔 (29 歳)

安田学園 (主将) →明治大学

第 85 回全国選抜高校野球選手権大会出場

(現・安田学園野球部コーチ)

[市川シニア 44 期 (主将)]

宇野竜一朗 (22 歳)

早稲田実業→早稲田大学

(現・早稲田大学野球部学生コーチ)

[市川シニア 46 期 (主将)]

堀部康平 (20 歳)

千葉県立船橋 (主将) →東京大学

(現・東京大学野球部所属)

[市川シニア 47 期]

涌嶋陽太 (18 歳)

佼成学園 (主将) →明治大学

(現・明治大学野球部所属 / 東京都六大学理工系リーグ)

市川シニアでの一番の思い出

—中学時代に過ごした市川シニアでの思い出というと、どんなことが思い出されますか？

宇野竜一朗 (以下：宇野) 基礎的な地味な練習をたくさんしたことですね。その後の野球人生における基礎の部分を提供いただいたなということと、全力疾走やゴミ拾いといったところもすごく徹底してやったことが思い出ですね。

堀部康平 (以下：堀部) 一番思い出に残っているのはキャプテンをやらせてもらったことですね。船橋高校でもキャプテンをやらせてもらったんですけど、市川シニアでキャプテンをやったことで、チームをまとめる大変さと達成感を体験することができましたし、その経験が高校でキャプテンをやるうえでの土台になったかなと思っています。



涌嶋陽太（以下：涌嶋） 自分はコロナウイルスが直撃した代でもあったんですけど、グラウンドで顔を会わせられないなかで、毎日絶対に個人練習を継続することをみんなで決めたり、ときにはみんなでZoomで会議をしたり、そういうことが思い出に残っています。

渋谷大輔（以下：渋谷） 今も昔も専用グラウンドがない中で、最近は近隣の高校や市民球場を借りて練習ができていると聞くんですけど、僕たちの時代はそういう場所を使えることがほとんどなくて、塩浜グラウンドを午後から使えたらラッキーぐらいの感じでした。だから午前中は体力トレーニングでひたすら走っていた思い出がありますね。練習も基本練習がすごく多くて、実戦練習なんてほとんどなかったような気がします。でもそれが一番大きかったですし、その後の野球人生にすごく良い影響があったなと思います。

藤丸大輝（以下：藤丸） 私も一番思い出に残っているのは走ったことですね。当時、走り専属のコーチの方がいたんですけど、そのコーチのアップの時の走りが本当にきつくて。一度、選手たちで作戦を考えて、練習時間の30分前に集まって「コーチが来るまでにアップを終わらせる！」という計画を立てて、コーチが来る前にアップを全部終わらせたんです。でもコーチが来たら普通に「よしアップやるぞー」と言われて、無駄な走りをしてしまったなっていう思い出がありますね（笑）。

——「僕らもう走りましたけど」とは言わなかった？

藤丸 とても言える状況ではなかったですね（笑）。ちなみに今から16年くらい前、私が現役だった時代の話ですから今はそんなに走っていませんので心配しないでください。

一同（笑）

藤丸 合宿に行っても1日目の夕方まではボールに触らず、ひたすら走っていたというのも思い出に残っています。でもコーチになって思うのは、チームスローガンに『走姿頭心』という言葉があるんですけど、まさしく市川シニアらしい言葉だと思っています。走る姿がその人を表すじゃないですけど、そこが今のチームにも残っているのが非常に良い伝統が引き継がれているんじゃないかなって、走らせる立場になって思っています。

忘れられない、あの試合

——市川シニア時代の試合で、今でも忘れられない試合はありますか？

宇野 悔しかった試合と嬉しかった試合があるんですけど、悔しかった試合は、あと一つ勝てば選抜大会に出場できるというところで最後に投内連携のミスで東練馬シニアに負けた試合。嬉しかったのは、最後の夏の全国大会を決める試合で、春の選抜で全国3位までになっている圧倒的格上だった上尾シニアに勝った試合。秋に負けて選抜出場を逃してから、しっかり自分たちがやってきたことを出した結果、格上相手に勝つことができ、あれが一番嬉しかった試合ですね。

——格上だった上尾シニアに勝てた要因はどこにあったと思いますか？

宇野 負けてからすぐ『捲土重来』という言葉でチームで掲げて、「ここから上がっていくぞ」みたいな意識がチームにあって、全員がモチベーション高く練習に取り組めたということもあると思います。あとは全力疾走を怠らないとか、ゴミ拾いを始めてみたりとか、野球以外のことに目を向け始めて、そういう野球以外のことでチームが

まとまっていたのも大きかったのかなと思います。

堀部 自分は春の選抜 3 回戦の五條シニアとの試合が一番印象に残っています。5 回まで 4 対 0 で勝っていたんですけど、5 回裏に一気に 9 点取られて、4 対 9 でそのまま負けてしまって。一番警戒していた相手の五番バッターがベンチに下がって「完全にうちのペースだ！」という試合展開の中で、急に連打連打で相手の攻撃が止まらなくなってしまって。「野球は何があるかわからない」ということを学んだ試合でした。

——一気に 9 失点は何があったんですか？

藤丸 ファーストゴロのピッチャーベースカバー遅れとかあったよね。あとは記録に残らないミスとか、叩きつけた打球が野手の間にバウンドしてとか。

堀部 チームの中で油断があったかと言われると、そんなことはなかったと思うんですけど、相手に行った流れが本当に止まらなくて。この試合はずっとベンチだったんですけど、必死に声を出したつもりだったし、流れを変えたいと思っていたんですけど何もすることができなくて……。その歯がゆさという、試合に出てプレイヤーとしてグラウンドに立っていたかったという気持ちと、ベンチでもっと何かできたんじゃないかなという思いが残りましたね。

——こういう負けた負け方をした試合の後、監督・コーチからはどんなことを言われましたか？

藤丸 怒った記憶はないですけど、自分たちではどうしようもできない「試合の流れ」というものがあって、今でも答えは分からないんですけど「じゃあ流れを変えられる選手になるのか？ 流れを止められる選手になるのか？ そのために何

をすればいいのか？ みんなで考えないといけないね」というようなことをミーティングで話しましたね。

——こういう試合もあるということを中学のときに経験できたことは、その後の野球人生に活かされましたか？

堀部 そうですね。いま自分は東京大学で野球をやっているんですけど、リーグ戦では厳しい試合展開がほとんどなんです。それでも自分は諦めないですし、その確率が限りなく低くても「ひっくり返ることもある！」「何があるかわからないぞ！」という気持ちで野球をやれているのは、あのときの経験があったからだと思っています。「あの負けが良かった」とは言わないですけど、その後の野球人生には良い影響を与えたかなと思います。

涌嶋 秋と夏、それぞれあと一勝で全国大会出場というところで負けた試合が印象に残っていますね。秋は関東大会に出て静岡裾野シニアとやったんですけど、やっぱりまだ中二だったので前日泊でテンションが上がって夜中までみんなで遊んでしまって……。宇野監督やコーチが部屋に怒りに来て、本当に子どもみたいなことをしてしまいました。そういう試合に向けての準備力の差もありましたし、自分もマウンドに上がりましたが、もう何をしても打たれる、何をしてもエラーするという何もできない雰囲気の中で負けてしまって。監督も呆れていましたね。

夏も準決勝を良い雰囲気ですべて勝ったんですけど、最後は佐倉シニアに 12 対 0 でコールドという涙も出ないような負け方をしてしまって。あと一勝で全国大会出場というところでのこの二敗は、シニア時代の悔しかった思い出になっています。

——中学生だからみんなで集まって泊まると修学旅行みたいに楽しくなっちゃった？

涌嶋 はい。テンションが上がって、楽しくなって寝れなかったです(笑)。枕投げ、バット投げみたいなことを部屋でやっていて、廊下で足音が聞こえたらみんな寝たふりをしていたんですけど、そこに宇野監督の怒号が響き渡って(笑)。「全国に出るチームはこういうことはしないよな」って、後からみんなで反省しました。

—コーチとしては、中学生だからそういうこともあると理解しておかないといけないですね。

藤丸 なので部屋割りは「こいつとこいつは絶対一緒にしない!」とか、そういう事前の準備の方が野球を教えるよりも大変でした(笑)。

一同 (笑)

渋谷 シニアの最後に千葉県大会というのがあったんですけど、初戦の相手が野田シニアで、「まあ勝てるだろう」みたいな雰囲気です。試合に入ったら負けてしまって。負けが多い代ではあったんですけど「野球は甘くない」ということをシニア生活最後の大会で経験して、それが一番印象に残っていますね。勝った大会もあったんですけど、いまでも同級生で集まると「あのとき野田に負けたよね」って、やっぱり負けた最後の大会がみんなもすごい印象に残っているんですよ。

藤丸 決して野球が上手ではなかったのですがベンチが基本だったのですが、土曜日の練習で次の日のスタメンがあるかないかは何となくわかると思うんです。控え組は「ああ、この大会も出られないかあ」と思いながら練習をやるんですけど、翌日の日曜日にたまたま塩浜のグラウンドで練習をしてから試合に行くことになったんです。きっかけは覚えてないんですけど、この日はなぜか「なにくそ!」と思って一番声を出して、一番元気にやっていたら、その日の試合に出してもらえたんで

す。当時の指導陣がそういう姿を見てくれていたのかなと思いましたし、やっぱり野球が上手いだけじゃなくて、頑張るところはそこなのかなって思ったことが、選手としては一番思い出に残っていますね。

—コーチになってからの忘れられない試合は?

藤丸 今日みんなの顔を久々に見て思い出したんですけど、竜一郎の代が市川シニアとしてはすごく久しぶりに夏の全国大会に出たんですけど、そのときに竜一郎が一番バッターで内野ゴロだろうと、内野フライだろうと常に全力疾走をしていたんです。アウトになってベンチ帰ってくるのも全力疾走。日頃からそれを練習しているぐらいのチームだったんですけど、それを1年生の堀部たちの代が「先輩たち、かっこいいな」って見ていて。それで自分たちの代が春の全国大会に出たときに「全力疾走をやろうよ」という声が選手たちから自然に出てきて、それをやってくれたんです。それがすごく印象に残っていますし、コーチとして一番嬉しかった試合ですね。

いまだから話せる〇〇

—当時は言えなかったけど「実はあれは僕でした」など、もう時効だから話せることなどはありますか?

涌嶋 最初の方に市川シニアは「走り」が多いという話があったと思うんですけど、藤丸コーチがコーンとか缶を持ってきて、それを置いた周りを走るメニューがあったんです。それを持った藤丸さんが来たらみんな「もう終わりだ……」みたいな絶望感があったメニューなんです。だからみんなバレないように足でコーンとか缶を蹴って少しずつ内側に寄せていって走る距離を縮めるということを毎回やっていました。

—藤丸コーチは気付いていましたか？

藤丸 さすがに気づいてました（笑）。気付いても別に言わなかったですけど、走り直しさせたいときだけ言っていました。「それ倒したから今のはカウントしないよ」とか、その辺は上手くやっていました。

宇野 父（監督）がいたら絶対に言えないんですけど、自分が引退した後、浦安球場で平日練習をやることがあったんです。選手たちで連絡を取り合って、キャッチャー防具とかの道具を1人ずつ持って練習に行かないといけなかったんですけど、割り振りみたいなことがうまくできていなくて道具が足りなかったんです。そのことに父が気づいて「お前ら練習やる気あんのか！」みたいなことを言われて怒られたんですけど、そこでなぜだか自分が「ありまーす」みたいな軽い返事をしてしまったんです。それに父が大激怒して「今言ったの誰だ！」みたいになって全員集められて。でも怖すぎて名乗り出ることができませんでした……。

藤丸 反抗期（笑）。

宇野 ちょっとした反抗期でもありました（笑）。

渋谷 私が現役のとき、法政大、東芝でキャプテンをされていたコーチの方が選手の親戚という関係でいらっしゃったんです。とても熱い方で「内野は飛び込んで怪我をするから半袖は着るな」といつも言われていて、その教えをみんなずっと守っていたんですけど、たまたま冬の寒い日に選手が着替えていたら、上は半袖なのにズボンの下にスパッツを履いていたやつがいたんです。それがそのコーチに見つかって「スパッツを履いて野球ができるか！」ってめちゃくちゃ怒られて。でも実はみんなスパッツを履いていたんです（笑）。

それ以来、そのコーチの前ではみんな着替えないようにになりました。

藤丸 お弁当の量をチェックするというか、ちゃんとお母さんが作ってくれたお弁当を全部食べているかというチェックがあったんです。食べ終わったら、監督・コーチに「食べ終わりました」って見せに行かないといけなかったんですけど、でも夏のめちゃくちゃ暑いときって練習した後に量を食べられないじゃないですか？ そういうときは、食べ終わった友達のお弁当箱を借りて「食べ終わりました！」って見せに行っていました。

一同 （笑）

渋谷 お弁当が小さいとまた何か言われるから、大きなタッパーに薄くご飯を詰めてもらっているやつもいました。みんなお母さんに頼んでましたね「ご飯は薄くかさ増しして」って（笑）。

—今もチームとしてお弁当チェックはやっているんですか？

藤丸 今はたくさん食べるというよりも、残さず食べるとかバランスよく食べなさいというようなことは言っています。「米二合食べる」とか、とにかく量を食べるというような偏った食事ではなく、ちゃんとバランスよく食べましょうというのが今のチーム方針ですので、ご心配なく（笑）。

きつかった、あの練習……

—さっきも少し話に出ましたけど「あの練習だけはもうやりたくない！」という、一番きつかった練習はありますか？

涌嶋 走る系のメニューはきつかったですね。

堀部 サーキットトレーニングをやってからの走り！ サーキットをやって疲れた後に、「終わりがかな？」「終われー！」ってみんな思っているときに、そのあと走りのメニューがあったとき。あのセットは本当にきつかったですね。

一同 うんうん。

堀部 何本走るかもあんまりよくわからないんですよ。監督・コーチが「ラスト！」って言うまで走る。言われてからも長くて（笑）。

—藤丸コーチはサーキット後に何本走らせようかなとか、そのときに考えていたんですか？

藤丸 そうですね。サーキットの雰囲気とかを見ながらですね。あとは「今日見たいテレビまでまだ時間あるな」とか（笑）。

一同 （笑）

藤丸 選手が頑張ってる姿を見ると、もうちょっと頑張っている姿が見たいなって思っちゃうんですよ。

涌嶋 塩浜のグラウンドから浦安の総合公園というところまで海岸沿いを走るメニューがあったんですけど、野手は走り終わったらそこで手押し車だったり、自重トレーニングがあるんです。でもピッチャー陣はそこにある傾斜のきつい坂をダッシュしないとイケなくて。ピッチャー陣のコーチに篠塚さんという方がいるんですけど、笑顔で「50本行こう！」って言われて（笑）。10本ぐらいダッシュするのが限界みたいな坂なので、みんな最初は「またまたー」って笑っていたんですけど、本当に50本走らされて。みんな泣きそうな顔で最後まで走ったんですけど、ピッチャー陣のランニングは本当にもうやりたくないですね。

宇野 「ロング」という海岸沿いを走るメニューがあるんですけど、あれはもうやりたくないですね。きついコースを走ってきて、最後に長い直線がって「やっとゴールしたー！」と思ったら、ゴール地点にいた高橋コーチに「はい、往復」って言われて（笑）。そこからまたロングを走って。あれはシニア生活で一番きつい練習でしたね。

俺たちの代の強みと弱み

—自分たちの代の強みと弱み、今思えばどんなところがあったと思いますか？

宇野 自分たちの代で一番の強みだったのは「徹底する力」があったことですね。先ほど話した全力疾走やゴミ拾いとか、全員がちゃんとやらないやつに対して、相手が誰であっても強く言えるような、そんな仲間たちでしたね。そこで「全員が徹底してやらないとイケないぞ」という雰囲気がチームにあったのはすごい強みだったなと思います。

堀部 僕たちの代は個の力はそんなになくて、野球がすごく上手いとか、こいつがチームの中心みたいな選手はいませんでした。でも結構仲が良くて距離感も近くて団結力、一体感というのは他の代にも負けなかったのかなと思います。あとはキャッチボールやボール回しをものすごく大事にやる代でしたね。そういったことを1年の頃から長い時間をかけてちゃんとやるという習慣を藤丸コーチにつけてもらったので、その辺が守備を中心にして戦うという僕たちの代の強みにも繋がったのかなと思います。

涌嶋 自分たちの代は1人1人のキャラが濃くて、自分のことしか考えてない自由人の集まりというか、動物園みたいな代でした（笑）。でもその分、野球の実力は個人個人にすごいものがあって、全

員がまとまればすごい爆発力なるというチームでもありました。そんなチームを束ねたのが今井裕治というキャプテンだったんですけど、誰よりも声を出して、全力疾走をして、チームのために動くような背中で引っ張るタイプの良いキャプテンだったんです。でもみんなキャプテンの言うことを聞かなくて（笑）。それがチームの弱みというか良くないところでした。いまでもみんなが集まったときには「今井に会ったら中学の時のことを謝ろうな」みたいなことを話をしています。

渋谷 同級生が 12 人と少なかったんですけど、みんなすごく野球が好きで、学校が午前中で終わる日があれば午後から河川敷に集まって野球をやっていました。夏休みは平日 5 日のうち 3 日間ぐらいはみんなで作っていましたし、毎回 8～10 人ぐらいが集まっていました。それぐらい野球が好きなメンバーが集まっていたことが強みでしたね。決して強くはなかったですけど、結果的に 12 人うちの 5 人は大学まで野球をやったので、野球に対する情熱があった代なのかなと思います。弱みは、誰かのミスを庇ってあげようという人間性のあるやつがいなかったことですね（笑）。ピンチになってマウンドに集まるときも、普通だったら励まし合ったり、「バッターに集中していこう」とか、そういうことを話すと思うんですけど、僕らの代は「しっかり捕れよ！」「お前がしっかり投げねえからだろ！」みたいな責任のなすりあいというか、人のせいにするやつが多くて（笑）。

藤丸 私の代も問題児だらけでしたけど仲間意識は強かったですね。チームメイトを大事にするとか、平日に野球はやらないかったですけど、みんな家の方向が違うのによく集まっていました。弱みは、もう圧倒的にやんちゃなやつしかいなかったことですね（笑）。負けん気が強いやつが多かったので、相手が強かろうが弱かろうが「絶対負けねえわ！」とか、相手チームに有名選手がいても「誰それ？ 知らんわ」みたいな。そうい

う気持ちで戦っている選手が多かったのは、強みになることもありましたが弱みとも紙一重だったかなと思います。

中学時代の自分へメッセージ

—大人になったいま、当時の自分に何か一言アドバイスできるとしたら、どんなことを言ってあげたいですか？

宇野 高校時代に膝を怪我して、それを大学まで引きずってしまいました。小学校のときも毎晩ストレッチはやっていたんですけど、あまり膝にアプローチするストレッチはしていなかったので「もっとちゃんと膝のストレッチしておけよ」ということですね。あとは早稲田実業では勉強で大分苦労したので「もっと勉強をしておけよ」とも言いたいですね。

堀部 シニアの練習に行くときは、野球が上手くなりたいという気持ちと同じぐらい「キャプテン」をやりについている感覚が強くありました。チームをまとめなきゃいけない、監督・コーチに言われたことをちゃんとやらせないといけないと考えていた部分が多くて、純粹に野球を楽しむとか、上手くなろうという思いがちょっと足りていなかったと感じています。だからもうちょっと楽にというか「もっと自分が上手くなるために、試合で活躍するためにという方向にベクトルを置いてやれよ」って言いたいですね。

涌嶋 自分は中学時代からずっと怪我と隣り合わせの野球人生なんですけど、でも怪我をしているときは「早く治そう」とか「自分は怪我が多いな」とかって顧みることがなかったので「怪我に対する意識をしっかり持てよ」と言いたいですね。あとはショートでやりたい気持ちが強くて、ショートの練習もやっていたんですけど守備センスが皆

無だったので、「早めに見切りをつけてピッチャー1本でやっつけよ」というのは言ってあげたいですね。

渋谷 中学時代は食に対する意識が低くて、ご飯を食べるといふか食べさせられていたという方が正しいくらいでした。当時は晩ご飯しか食べていないくらいだったので「朝昼晩ちゃんと食べて補食もしっかり摂ることが大切だよ」と言いたいですね。あとは中学の時期は練習と同じくらい食事と睡眠が大事なので「飯食って早く寝ろ」と言いたいですね。集合写真で並んでも僕だけ小さかったですからね。

藤丸 野球の戦術とか、野球の深い部分をたくさん伝えてもらっていたと思うんですけど、当時はまだそこに楽しみ、面白さを見出せていませんでした。とにかく打球を遠くに飛ばしたい、速いボールを投げたいとか、そんなことばかり考えて練習をしていましたから。でも高校を卒業してコーチになってから、いろんな先輩コーチに戦術などの深い部分を教えてもらって初めて野球の深さを知れたといふか、現役でやってたときよりもいまの方が野球が楽しいし、より好きになったんです。だから「監督・コーチの言うことを素直に聞けよ」ということを言いたいですね。

これからの夢、目標

—最後に皆さんのこれからの夢や目標を聞かせてください。

宇野 まずは東京六大学の秋のシーズンで、(学生コーチとして)優勝して日本一を取ること。あとは来年からアメリカの大学でもう一度野球をやるので、日本でやってきたことや市川シニアで培ってきたことを発揮して、アメリカを舞台に活躍することですね。市川シニアでやってきた全力

疾走とか積極的なプレーなどはアメリカでもブレずにやって「日本の選手ってすげえな」と思われるように、野球をやっていきたくと思っています。

堀部 東大野球部として神宮で勝つことです。野球をやるのは大学までと決めているので残りは2年とちょっとなんですけど、まずはそこを目指して頑張ることですね。

卒業してからは、挨拶や礼儀とか人間性という部分は野球を通じて、市川シニアを通じて培われたと思うので、そういうところを活かして人の役に立つ仕事に就きたいと思っています。

涌嶋 市川シニア出身の先輩方は高校でキャプテンをやっていた方も多くですし、役職がなくても高校、大学でチームの中心になっている方も多くて、それは集団の中心になる、チームを引っ張っていくような指導を市川シニアで受けてきたことが大きいのではないかとと思っています。自分も市川シニアでそういったことを学ばせていただいたと思っているので、どのレベルで野球を続けていくかはまだ分からないですけど、一生野球には携わっていくつもりなので、今度はそれを下の世代に伝える側に回りたくと思っています。

渋谷 私は安田学園の野球部に携わらせていただいているのですが、いろんなところで「文武両道」という言葉を聞いたり、掲げている学校も多いんです。でも「文武両道」って本当に難しいんですよね。生半可な気持ちではできないと思っていますし、勉強に対しても本気、野球に対しても本気。なおかつ結果も求められる。そんな「文武両道」を実践できる野球部を目指していきたくと思っています。

あとは私が市川シニアで野球ができて良かったと思っているように、安田学園で野球をやって、安田学園で良かったなとも思っているので、いろんな中学生から「安田学園に入りたい」と思ってもらえるような野球部を目指すとともに、安田学園

を出て良かったなと思ってもらえるような、そんな野球部、高校になれるようにしていきたいなと思っています。

藤丸 今回市川シニアが 50 周年を迎えられましたけど、自分も卒団生として、百年、百五十年と続くチームであってほしいなと思っていますし、それに向けてチームの一員として何かお手伝いができればいいなと思っていることがひとつ。あとは中学生に「勝利」という成功体験の中から日本一を目指して欲しいと思っていますので、市川シニアとして日本一を経験したいなと思っていますし、野球が好きな子を 1 人でも多く育てていきたいと思っています。

今回のように、こうやって先輩後輩関係なく市川シニアで一緒にやった仲間が集まれるチーム、子どもたちに選んでもらえるチームであり続けたいですし、在籍している子たちがとにかく野球が大好きになるチーム、卒団してからもまた戻ってきたいなと思えるチームであり続けるために、自分にできることを精一杯頑張りたいですね。

—コーチをやっていて、卒団した子たちが「高校野球、無事に終わりました」という報告にグラ

ウンドに来てくれるのは、やっぱり嬉しいものですか？

藤丸 一番嬉しいですね。特に市川シニアは卒業してから帰ってきてくれる子たちが多いんですよ。それはすごく嬉しいですね。

—大会前日に枕投げをやっていたあいつがこんな立派になって……みたいな？

一同 (笑)

藤丸 今回もそうですけど、市川シニアで勝ったことや負けたこと、怒られたことや練習がきつかったこととか、当時のことをみんなで笑いながら話せるのは最高ですよ。

—次は 60 周年記念か何かでまたこうして集まるといいですね。本日は皆さん、お忙しいところありがとうございました！

(聞き手：フリー編集者 / 永松欣也)



宇野

堀部

涌嶋

永松ライター

大瀧部長

渋谷

藤丸

市川リトルシニアのあゆみ

— シニアリーグの誕生と発足について —

リトルリーグは、1939年（昭和14年）アメリカで生まれ、1964年（昭和39年）に「日本リトルリーグ野球協会」として発足しました。リトルリーグは、12歳までという年齢制限があるため、1972年（昭和47年）に中学生を対象とした「日本リトルシニア野球協会」を発足しました。2000年（平成12年）に「日本リトル野球協会」と合併し「全日本リトル野球協会」になりました。その後、2005年（平成17年）文部科学省より財団法人の認可を受けました。その傘下に「リトルリーグ委員会」と「リトルシニア委員会」に分かれて活動することになり、市川シニアは「リトルシニア委員会」に所属しています。

1968年（昭和43年）：小川裕会長により市川リトルリーグが結成される

1974年（昭和49年）：全日本リトルリーグ関東シニア連盟に加盟

— 実績 —

1974年（昭和49年）：秋季関東大会優勝

1974年（昭和49年）：東西対抗大会優勝

1992年（平成4年）：秋季関東大会ベスト16

1993年（平成5年）：住宅公団杯準優勝

1993年（平成5年）：第21回日本リトルシニア野球選手権大会出場

1994年（平成6年）：秋季関東大会ベスト8

1995年（平成7年）：住宅公団杯優勝

1999年（平成11年）：夏季関東大会ベスト8

1999年（平成11年）：第27回日本リトルシニア野球選手権大会出場

2005年（平成17年）：第9回読売新聞杯兼第38回千葉県大会準優勝

2009年（平成21年）：春季関東大会出場

2010年（平成22年）：秋季関東大会ベスト16

2011年（平成23年）：第17回日本リトルシニア野球全国選抜大会出場

2011年（平成23年）：秋季関東大会ベスト16

2012年（平成24年）：春季東関東支部大会優勝

2012年（平成24年）：第18回日本リトルシニア野球全国選抜大会出場

2012年（平成24年）：春季関東大会出場

2012年（平成24年）：秋季関東大会出場

2013年（平成25年）：春季関東大会出場

2014年（平成26年）：春季関東大会出場

2016年（平成28年）：読売新聞社杯兼千葉県大会準優勝

2016年（平成28年）：第5回東日本選抜野球大会ベスト8

2016年（平成28年）：秋季東関東支部大会準優勝

2016年（平成28年）：秋季関東大会ベスト16

- 2016年（平成28年）：千葉日報社杯新人3位
- 2017年（平成29年）：夏季関東大会ベスト16
- 2017年（平成29年）：第45回日本リトルシニア野球選手権大会出場
- 2017年（平成29年）：東関東秋季支部大会3位
- 2017年（平成29年）：秋季関東大会出場
- 2018年（平成30年）：ジャイアンツカップ千葉県予選準優勝
- 2018年（平成30年）：東関東秋季支部大会3位
- 2018年（平成30年）：秋季関東大会ベスト16
- 2019年（平成30年/令和元年）：第25回日本リトルシニア野球全国選抜大会出場
- 2019年（平成31年/令和元年）：春季関東大会出場ベスト16
- 2019年（平成31年/令和元年）：東関東秋季支部大会準優勝
- 2019年（平成31年/令和元年）：秋季関東大会出場
- 2020年（令和2年）：第48回日本選手権予選・夏季東関東大会準決勝
- 2020年（令和2年）：東関東秋季支部大会3位
- 2020年（令和2年）：秋季関東大会出場
- 2020年（令和2年）：千葉日報社杯新人大会準決勝
- 2021年（令和3年）：日本選手権予選・夏季東関東支部大会準優勝
- 2021年（令和3年）：秋季関東大会出場
- 2021年（令和3年）：千葉日報社杯新人大会優勝
- 2022年（令和4年）：東関東秋季支部大会3位
- 2022年（令和4年）：秋季関東大会出場
- 2023年（令和5年）：秋季関東大会出場
- 2024年（令和6年）：春季関東大会出場
- 2024年（令和6年）：第17回読売新聞社杯兼第46回千葉県大会優勝

— プロ野球選手 —

- 2期生：小川 史：1978年西武ライオンズ入団・1983年福岡ダイエーホークス移籍・
現3軍監督（県立浦安高）
- 48期生：宇野 真仁朗：2024年福岡ソフトバンクホークス入団（早稲田実業高校）

— 高校監督 —

- 1期生：弓田 鋭彦：豊南高校（早実高・早稲田大学・日本石油）

— 甲子園出場者 —

- 1期生：弓田 鋭彦：早稲田実業：第49回選抜高等学校野球大会出場・
第59回全国高等学校野球選手権大会出場
- 20期生：大瀧 裕己：早稲田実業：第78回全国高等学校野球選手権大会出場
- 20期生：斎藤 淳：市立船橋：第78回全国高等学校野球選手権大会出場
- 24期生：伊藤 源一：東海大浦安：第82回全国高等学校野球選手権大会出場

26期生：鈴木 洋介	：拓大紅陵	：第84回全国高等学校野球選手権大会出場
37期生：渋谷 大輔	：安田学園	：第85回選抜高等学校野球大会出場
38期生：本宮 佳汰	：安田学園	：第85回選抜高等学校野球大会出場
38期生：江口 弘馬	：安田学園	：第85回選抜高等学校野球大会出場
38期生：大黒 一之	：二松学舎	：第96回全国高等学校野球選手権大会出場
39期生：河村 佳佑	：専大松戸	：第97回全国高等学校野球選手権大会出場
42期生：峯村 誉範	：木更津中央	：第99回選抜高等学校野球大会出場
43期生：岡田 和也	：国学院久我山	：第101回全国高等学校野球選手権大会出場
47期生：高坂 丈慈	：日大三高	：第105回全国高等学校野球選手権大会出場
48期生：梅澤 翔大	：専大松戸	：第105回全国高等学校野球選手権大会出場・ 第95回選抜高等学校野球大会大会出場
48期生：井田 裕士	：関東第一	：第95回選抜高等学校野球大会大会出場・ 第106回全国高等学校野球選手権大会出場
48期生：岩崎 伸哉	：中央学院	：第95回選抜高等学校野球大会
48期生：小澤 遼大	：中央学院	：第95回選抜高等学校野球大会
48期生：宇野 真仁朗	：早稲田実業	：第106回全国高等学校野球選手権大会出場

— 卒団生の進学先（36期以降、公開分のみ） —

【千葉県】 あずさ第一 / 敬愛学園 / 光英 VERITAS / 市川 / 志学館 / 芝浦工大柏 / 渋谷幕張 / 昭和学院 / 昭和学院秀英 / 成田 / 千葉英和 / 千葉学芸 / 千葉経大付属 / 千葉商大付属 / 千葉日大一 / 千葉明德 / 千葉黎明 / 専大松戸 / 拓大紅陵 / 中央学院 / 東海大浦安 / 東海大市原望洋 / 東京学館 / 東京学館浦安 / 東京学館船橋 / 東葉 / 日体大柏 / 日大習志野 / 八千代松陰 / 茂原北陵 / 習志野 / 市立船橋 / 市立松戸 / 磯辺 / 浦安 / 県立柏 / 京葉工業 / 検見川 / 行徳 / 国府台 / 佐倉 / 市川工業 / 市川東 / 市川南 / 市川昴 / 小金 / 千葉西 / 千葉東 / 千葉北 / 県立船橋 / 船橋古和釜 / 船橋東 / 八千代 / 幕張総合

【東京都】 安田学園 / 郁文館 / 関東一 / 錦城学園 / 京華商業 / 佼成学園 / 修徳 / 昭和第一 / 上野学園 / 城北 / 世田谷学園 / 成立学園 / 正則 / 早稲田実業 / 足立学園 / 東海大高輪 / 東京実業 / 東洋 / 二松学舎大付属 / 日大二 / 日大三 / 日大豊山 / 日大鶴ヶ丘 / 明大中野 / 國學院 / 國學院久我山 / レコールバントン高等部 / 紅葉川 / 小山台 / 雪谷

【茨城県】 江戸川学園取手 / 常総学院

【埼玉県】 春日部共栄 / 昌平 / 聖望学園 / 早大本庄 / 立教新座 /

【神奈川県】 桐蔭学園 / 星槎国際湘南

【北海道】 北海学園札幌

【宮城県】 東北

【福島県】 学法石川

【新潟県】 日本文理

【山梨県】 山梨学院 / 日本航空

【兵庫県】 神戸弘陵 / カナディアンアカデミー神戸

選手名簿 (1 ~ 35 期)

期・卒業年度	氏名
1 期生	
1974 年度 (昭和 49 年)	小林 明宏
	金子 大
	弓田 鋭彦
	竹内 弘茂
	石井 光行
	紀伊元英明
	山本 晃一
2 期生	
1975 年度 (昭和 50 年)	小川 史
	高橋 豊文
	森田 敦
	菅原 昌弘
	野崎 司
	山崎 祐二
	奥山 満
3 期生	
1976 年度 (昭和 51 年)	田川 成一
	宮城 秀樹
	山本 哲
	安藤 威
	谷口 直夫
	大槻 英幸
	田辺 正人
	市原 昌典
	鈴木 考章
	高橋 公一
	中川 宏樹
	佐藤 尚志
	鈴木 良二
4 期生	
1977 年度 (昭和 52 年)	佐藤 正則
	清野 秀樹
	市瀬 一之
	板橋 浩一
5 期生	
1978 年度 (昭和 53 年)	倉田 広幸
	中村 雄彦
	宇田川芳幸
	都田 秀男
	斉藤 純
	西 義広
	香川 晃
	柴田 進
6 期生	
1979 年度 (昭和 54 年)	岡田 賢一
	清野 正道
	篠塚 光成
	小山 益雄
	岩崎 雄大
	興石 政雄

期・卒業年度	氏名
	柿本 明
	石田 政治
	浜野 実
	亀井 敏明
	河野 正美
	竹森 敏和
	岩崎 武志
7 期生	
1980 年度 (昭和 55 年)	大熊 健吾
	奥村 和守
	近藤 修
	庄司 淳
	箱崎 真一
	西 義二
	植草 英明
	宇田川 護
	高谷 誠
	福田 伸介
8 期生	
1981 年度 (昭和 56 年)	須賀 時宏
	小川 守
	吉永 徹
	塚本 貢一
	佐藤 洋
	伊丹 伸治
	永山 政義
	境野 和行
	柳瀬 剛
	宮崎 朗
9 期生	
1982 年度 (昭和 57 年)	落合 健児
	朝長修一郎
	加藤 栄一
	渡辺健一郎
	小川 信広
	篠田 健司
	牧野 恭之
	宇田川憲次
	大川 将史
	入鋏 柁仁
	小林 信行
	宇田川 覚
	宗像 勝人
	小林 賢志
10 期生	
1983 年度 (昭和 58 年)	小泉 清
	渋谷 佳広
	福田 政幸
	中村雄一郎
	阿部 威
	倉富 光明

期・卒業年度	氏名
	片岡 憲昭
	飯田 智規
	丸山 昭仁
	石田 慎
	下川 太郎
	上間 秀彦
	飯野 浩二
	中島 努
	外山 満
	堀 義幸
	青木 忠温
	末永 栄治
	小川 昭
	遠間 国彦
11期生	
1984年度（昭和59年）	遠藤 圭介
	的場 健
	小林 昭夫
	飯田 憲昭
	錦戸 昭夫
	中山 浩治
	谷川 徹
	大熊 哲
	田口 哲弘
	玉井 栄一
	石川 智一
12期生	
1985年度（昭和60年）	川崎 貴人
	小田桐義明
	山田 剛史
	古屋 篤
	赤堀 大
	渡辺 和之
	酒井 康年
	吉宗泰治郎
13期生	
1986年度（昭和61年）	北原 隆吾
	豊嶋 祐司
	長友 亮太
	阿部喜代士
	玉井 裕二
14期生	
1987年度（昭和62年）	若泉 慎一
	藤井 康彦
	宇田川栄一
	山本 芳洋
	林 信明
	陣野 秀
	井上啓一郎
	内藤 敦夫
	柳町 廣通
	宇都 一成
	三笠 敬治

期・卒業年度	氏名
15期生	
1988年度（昭和63年）	村野 広根
	大木 裕之
	浅川 栄二
	佐野 大織
	和田 泰忠
	加藤 一臣
	高梨健太郎
	小野 貴譜
	久保田剛彰
	折本 隆
	倉島 則行
16期生	
1989年度（平成元年）	川名 幸治
	大寺 圭一
	吉野 和伸
	佐伯 勇
	川副 健一
	金澤 友洋
	市川 勉
	岩楯 義幸
	姫路 幸樹
	若浦 興
	田所 英樹
	及川 順一
	野島 敬二
	渡辺 丈美
	高野 和弘
17期生	
1990年度（平成2年）	前田潤一郎
	斉藤 貴志
	稲垣 佳明
	岡田 清史
	榎本 大輔
	吉田 和幸
18期生	
1991年度（平成3年）	加藤 泰司
	石井 浩久
	土田 治朗
	池田 正和
	吉田 和正
	川沼 慶昌
	秋山 淳
	吉岡 茂雄
	藤原 敏彦
	古元 聰
	加藤 歩
19期生	
1992年度（平成4年）	浅田 亨
	阿部 知幸
	井上 貴夫
	桜井 正志
	子安 正平

期・卒業年度	氏名
	芦田 昌之
	板倉 大輔
	楠田 孝典
	古賀 真吾
	峯崎 祥信
20 期生	
1993 年度（平成 5 年）	岡森 達弥
	堀木 政人
	斉藤 淳
	岡部 光人
	大滝 裕己
	海老原 修
	富沢 勉
	岡 祐介
	村上 浩隆
	吉田 一樹
21 期生	
1994 年度（平成 6 年）	示村 嘉史
	古宇田将人
	村上 典央
	辻井 涼太
	佐々木行成
	高石 良治
	高橋 亮太
	沓澤 史幸
	榎本 拓郎
	大久保俊之
22 期生	
1995 年度（平成 7 年）	河野 大悟
	長谷川宗慶
	中沢 宏至
	小泉 貴史
	岡部 光樹
	桑原 崇
	佐々木優太
	吉田 大助
	岡 健介
23 期生	
1996 年度（平成 8 年）	西手 克臣
	板倉 卓史
	秋元 健太
	小川 泰史
	加藤 智之
	高橋 智之
	熊谷 元春
	石川 洋一
	藪崎 太功
24 期生	
1997 年度（平成 9 年）	竹村 聡
	犬山 達彦
	浅野 慎也
	富井 大
	伊藤 源一

期・卒業年度	氏名
	小泉 正人
	平岩 元気
	寺門 朝彦
	渡 伸彦
	山内 隆之
	安藤 真和
	中村 祐也
	中村 亮太
	田村 真吾
	山本 達雄
	宇都 達也
25 期生	
1998 年度（平成 10 年）	藤田 拓志
	藤田 晃志
	四宮 知宏
	犬山 賢悟
	松橋 勇輝
	岩崎 久敏
	平野 直彦
	片山 悠
26 期生	
1999 年度（平成 11 年）	瀧本 和弘
	森川 幸一
	坂本宗太郎
	中塚 慧
	川辺 宏幸
	五十平野俊
	阿部 大輔
	田崎 健二
	清水 裕輔
	淵辺 雅嗣
	羽賀 理之
	秋本 良太
	伊藤 潤哉
	佐々木拓郎
	鈴木 洋介
	荻野谷洋亮
27 期生	
2000 年度（平成 12 年）	瀧本 健伍
	細谷 智樹
	一条 竜二
	佐藤 友哉
	萩原 智宏
	石井 秀和
	神 和史
	清水 久貴
	飯塚 純
	江頭 諒
	及川 陽平
	青山 秀行
	下山田光孝
	猪俣 俊輔
	石之脇祐太

期・卒業年度	氏名
	濱野 隆明
28期生	
2001年度（平成13年）	小曾根厚仁
	西濱 晃一
	石井 真人
	木下 健太
	千田 啓人
	長澤 伸哉
	淵辺 雅樹
	平尾 辰徳
	堀越 鉄平
	佐藤 正樹
	内田 健太
	小畑 文仁
	天野 敬太
	住吉 学
29期生	
2002年度（平成14年）	鈴木 真樹
	門倉 規之
	小谷 浩太
	大串 祐哉
	浅田 一休
	田中 佑樹
	加藤 毅
	赤萩 憲太
	秦 裕也
	松下 佳弘
	山本 直一
	安藤 淳
	中塚 雅
	名取 正晃
30期生	
2003年度（平成15年）	大久保将志
	中村 有吾
	熊谷 祥平
	下山田直人
	今塩屋亮光
	近谷悠一郎
	伊藤 陽輔
	小畑 文敬
	尾崎 秦隆
31期生	
2004年度（平成16年）	土田 駿
	小山 博之
	清水 隼人
32期生	
2005年度（平成17年）	須藤 瑛彦
	小山田将一郎
	前川 慧志
	内田 悠介
	小林 和貴
	小林 直貴
	渡辺 正文

期・卒業年度	氏名
	坂本 淳
	市来 学
	本田 考也
	伊藤 幸也
	天野 晶仁
	小松 優輝
	堀越 正幸
	木屋 美人
	長尾 晃
	横内翔太郎
	田仲 祐輝
	櫻井 考多
	登藤 真史
33期生	
2006年度（平成18年）	石澤 健次
	矢越 公教
	与那嶺大樹
	日高 裕貴
34期生	
2007年度（平成19年）	岩瀬 優吾
	鬼塚 大地
	親富祖竜一
	木村 隆太
	甲斐 悠也
	佐藤 寛紀
	椎橋 祐太
	須藤 健太
	野田 岳大
	前川 太志
	湯澤 墨
	若附 翔太
35期生	
2008年度（平成20年）	浅井 拓也
	大竹 亮
	谷口 直樹
	藤丸 大輝
	寺田 昌平
	松田 翔吾
	土井 祐樹
	佐藤 稜
	佐藤 大暉
	水永 航平
	鈴木 知希
	西村 勇貴
	山下 雅貴
	田中 義人
	石井 亮太
	岩崎 一大
	逸見 拓史

役員名簿

役職	年度	氏名
会長	1977 (S52) ~ 1979 (S54)	安藤 信成
	1980 (S55) ~ 1981 (S56)	金子 和男
	1982 (S57) ~ 1984 (S59)	渋谷 晴光
	1985 (S60) ~ 1996 (H 8)	川崎 喜代一
	1996 (H 8) ~ 1997 (H 9)	宮崎 長蔵
	1998 (H10) ~ 2005 (H17)	近藤 喜久雄
	2005 (H17) ~	渋谷 晴光
副会長 副会長 (GM兼務) 副会長	1991 (H 3) ~ 1996 (H 8)	北原 正旦
	1991 (H 3) ~ 1996 (H 8)	小田桐 忠明
	1996 (H 3) ~	山田 幸雄
	2006 (H18) ~ 2015 (H27)	海老原 貢
	2015 (H27) ~ 2017 (H29)	内田 俊一
	2017 (H29) ~	河村 宏治
	2017 (H29) ~	木村 隆治
事務局	1974 (S49) ~ 1975 (S50)	五十嵐 敏夫
	1976 (S51) ~ 1979 (S54)	倉田 明
	1980 (S55) ~ 1982 (S57)	田中スポーツ
	1983 (S58) ~ 1993 (H 5)	白石スポーツ
	1994 (H 6) ~ 2005 (H17)	海老原 貢
	2005 (H17) ~ 2013 (H25)	野田 岳
	2014 (H26) ~	橋本 祐志
副事務局	2020 (R2) ~	涌嶋 誠一
渉外部長	2006 (H18) ~	大瀧 重雄
総監督	2015 (H27) ~	渋谷 佳広
監督	1974 (S49) ~ 1977 (S51)	小川 任
	1978 (S52) ~ 1981 (S56)	清野 健蔵
	1982 (S57) ~ 1983 (S58)	早川 竜二
	1985 (S59)	在原 勇
	1985 (S60)	丸山 昭夫
	1986 (S61)	神宮 敏行
	1987 (S62) ~ 1991 (H 3)	櫻澤 千明
	1992 (H 4) ~ 1993 (H 5)	前田 隆良
	1994 (H 6) ~ 1995 (H 9)	山本 一
	1996 (H 8) ~ 2005 (H17)	大瀧 重雄
	2006 (H18) ~ 2014 (H26)	渋谷 佳広
	2015 (H27) ~ 2016 (H28)	河村 宏治
	2017 (H29) ~	宇野 誠一
コーチ	1974 (S49) ~ 1976 (S51)	五十嵐 敏夫
	1977 (S52) ~ 1981 (S56)	武田
	1982 (S57) ~ 1983 (S58)	落合 直英
	1984 (S59)	丸山 昭夫
	1986 (S60)	山本 洋
	1986 (S61) ~ 1990 (H 2)	小宮 正明

役職	年度	氏名
コーチ	1991 (H 3)	岩楯 健三
	1992 (H 4) ~ 1993 (H 5)	山本 一
	1998 (H10) ~ 1999 (H11)	山本 一
	1993 (H 5) ~ 1997 (H 9)	渋谷 佳広
	2005 (H17)	渋谷 佳広
	1994 (H 6) ~ 1995 (H 7)	大瀧 重雄
	1996 (H 8) ~ 1997 (H 9)	落合 健児
	1996 (H 8) ~ 1997 (H 9)	示村 一也
	1997 (H 9)	宇都 雅史
	1997 (H 9)	飯塚 義勝
	1997 (H 9)	古川 賢治
	1998 (H10) ~ 2002 (H14)	大久保 俊之
	1998 (H19) ~ 1999 (H11)	大瀧 裕己
	1999 (H11)	古川 綾
	1999 (H11) ~ 2001 (H13)	子安 正平
	2000 (H12) ~ 2010 (H22)	大橋 和史
	2000 (H12) ~ 2005 (H17)	佐藤 久夫
	2000 (H12) ~ 2002 (H14)	佐々木 優太
	2001 (H13) ~ 2002 (H14)	秋元 健太
	2003 (H15) ~ 2004 (H16)	土田 広幸
	2003 (H15)	伊藤 博文
	2006 (H18) ~	伊藤 正巳
	2006 (H18) ~ 2008 (H20)	木下 健太
	2007 (H19) ~	湯澤 直喜
	2007 (H19) ~ 2008 (H20)	岩崎 雄大
	2008 (H20) ~ 2015 (H27)	渡辺 浩康
	2009 (H21) ~ 2011 (H23)	片岡 定治
	2009 (H21) ~ 2014 (H26)	小林 均
	2011 (H23) ~ 2014 (H26)	河村 宏治
	2013 (H25) ~ 2017 (H29)	正木 健一
	2013 (H25) ~	中嶋 努
	2013 (H25) ~	藤丸 大輝
	2015 (H27) ~	篠塚 直一
	2015 (H27) ~	高橋 勇樹
	2015 (H27) ~	杉澤 熙人
	2015 (H27) ~ 2016 (H28)	宇野 誠一
	2016 (H28) ~	熱田 健太郎
	2016 (H28) ~ 2018 (H30)	萩島 賢
	2018 (H30)	向川 将太
	2019 (R 1) ~ 2021 (R 3)	橋本 将
	2019 (R 1) ~	藤嶺 典優
2019 (R 1) ~ 2024 (R 6)	竹田 樹	
2019 (R 1) ~ 2021 (R 3)	山本 徹矢	
2017 (H29) ~	小山田 陸是	
2022 (R 4) ~	大黒 一之	
2022 (R 4) ~	渋谷 祐太	
2024 (R 6) ~	高橋 賢司	
2024 (R 6) ~	和久田 春彦	
審判部		山田 幸雄
		須藤 義彦
		内田 俊一

リトル野球全国大会に

市川シニア 初出場



同選手権関東大会は五月から山梨の一部八県、百五十五から千葉、静岡、神奈川、東シニアも県内十五チームとともに激戦を勝ち抜いた。

日本リトルシニア野球日本選手権大会(八月十一日)に市川シニアチームが初出場するが、大会を控えて同チームの激励会が二十三日、市川市役所で行われた。関東からは市川をはじめ十チームが出場、全国各地区の代表と熱戦を繰り広げる。

敗者復活で代表権獲得 「目標は初戦突破」

しかし、敗者復活戦でならなかった成田との代表決定戦で6-0と快勝。上位十チームに入る事ができたため、関東全国大会出場権を獲得。県内からの出場は市川シニアのみとなった。

戦績は一回戦不敗勝、二回戦・対町田3-1、三回戦・対宇都宮3-0、四回戦・対横浜(神奈川)8-5、五回戦・対高松1-8と惨敗。

全国大会は八月十一日から五日間にわたって神宮、駒沢球場(東京都)で、北海道、東北、信越、東海、関西、九州など国からの代表二十四チームによって熱戦が繰り広げられる。市川シニアは大会前に福留(二百間の合宿)を行い、初日に関西の第三位チームと江戸川区西葛西の江戸川球場で対戦する。

全国大会出場を前に激励を受ける市川シニアチーム

1993 第21回日本選手権「全国大会」出場 市川市長を表敬訪問



市川シニア惜敗に涙

リトルシニア関東大会

先月十一日から神奈川県秦野市で熱戦が繰り広げられていたリトルシニアリーグの関東大会に、市川から出場した市川リトルシニア(川崎)がヒンチに好守を見せ、秦野の反撃を阻止。最終回には急成長の赤村が二点タイムリーを放ち、七対二で快勝。

市川シニア	二回戦は、北関東一位の新座東と対戦。両エースの力投で試合は延長戦に入り、八回表に新座東が幸運な一点を挙げ、それが結局決勝点となって、市川は無念の惜敗でした。
市川シニア	一回戦 11200003
秦野シニア	一回戦 00110000
新座東シニア	二回戦 00000001
市川シニア	二回戦 00000000
市川シニア	01

好選手揃いで、今年のシニアは強いぞ！

ロケット山下が一日コーチ ヤクルト青柳が

シニアの選手に手取り足取りで指導

二月一日のプロ野球キャンプを控えた先月二十六日、行徳在住のロケットオリオン山下徳人(外野手・三) (190センチ・88kg・右投左打)とヤクルトスワローズ青柳進捕手(三) (180

センチ・80kg・右投右打)の二人が、キャンプの準備で忙しい中、行徳高校グラウンドで練習に励む市川シニア(大滝重雄監督)の選手たちを激励に訪れ、約二時間は指導して

くれた。青柳捕手は、ストリーブでロケットからヤクルトに移籍。野村監督が期待する選手の中で、古田捕手も気を許せない存在です。山下外野手は、キャリアも十分に今シーズンも活躍が十分保証できます。二人は、午前十時にグラウンドに入り、青柳さんはバッテリーを担当し、左腕の平岩投手にヒッチングフォームを指導したり、犬山捕手には正しい捕球の仕方や送球の動作など、熱心に教えていました。

また、山下さんは、ゲージでフリーバッティングをする選手らの打撃フォームを見ながら、タイミングの取り方や

腰の回転など、熱の入った細かな指導をしてくれました。今年のシニアは、主将の寺門朝広(外野手・七中)を中心に、エースの竹村聡(一塁手)で四番の浅野慎也(好守・好打)の堀木俊介(遊撃手、元気の良さでチームのムードメーカー)を務める伊藤源一(三塁手・七中)やスラッガーの犬山遼彦(捕手)ら、少年野球やリトルで大活躍した一級品揃い。

山下さんと青柳さんも、選手らの動きの良さや野球センスに感心していました。練習終了後、青柳さんが「家で腕立てふせや素振りの練習をよくすること、監督やコーチ、親の言う事をよく聞いて下さい」と、アドバイスしていました。

なお、同チームは、三月二日から始まる千葉支部大会(18チーム)、関東東大会(茨城・千葉、12チーム)、同二十日神宮球場で開会式を行う関東大会の出場を目指して練習に励んでいます。



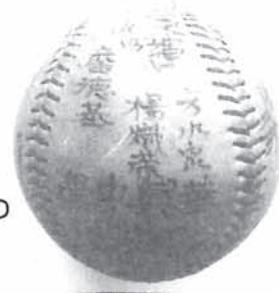
前列左が山下選手、右が青柳選手



フォームの指導をする青柳選手

2004 台湾のチームと親善試合

台湾の嘉義市立民生国民中学校野球部と江戸川北リトルシニアのグラウンドにて親善試合を行う。



台湾選手のサインの入った記念ボール

市川リトルシニア
日台親善に一役
嘉義中野球部と試合
中学生の硬式野球チ
ム・市川シニアは七月二
十一日、東京・江戸川北
リトルシニアのグラウン
ドで台湾の嘉義市立民生
国民中学校野球部と親善
試合を行った。

三チームの選手たち
は、試合前に一緒に昼食
をとり、アンダーシャツ
や連絡先などを交換。試
合後もプレゼントを渡
し、抱き合ったり写真
撮影を済ませた。

同野球部は七月十五日
に来日し、茨城県鹿嶋市
での試合を度切りに七試
合を全勝したが、日本
は野球が盛んで、どこで
も平均的にレベルが高
い」と同中の郭義勝校
長。通訳の洪肇嘉さん
も「お母さんたちが手伝
っているのは感心。みんな
とても親切に案内してく
れる」と話していた。



の両シニアに連勝。市川
の選手たちは「台湾のチ
ームは体格やパワーが違
い、一様に感心して
いたが、台湾の選手たち
もチームワークがいい」と
日本のチームの長所を
指摘していた。

2004.8.7 市川よみうり







祝50周年 市川リトルシニア野球協会

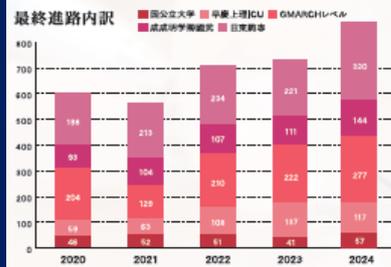


安田学園中学校高等学校

JR総武線「両国駅」徒歩6分
都営・大江戸線「両国駅」徒歩3分
都営・浅草線「蔵前駅」徒歩10分



大学合格実績



自学創造

自ら考え学び、創造的学力・人間力を身につけ、
グローバル社会に貢献する

市川リトルシニア
創部 50 周年おめでとうございます



FOR THE HAPPINESS OF THE PLAYERS



株式会社 エスアールエス
〒279-0013 浦安市日の出2-5-19
<https://www.srs-baseball-life.com/>

市川シニア 祝50周年

タチリュウジムは、ジュニアアスリートの
障害予防・パフォーマンスUPを通じて
野球業界への貢献・地域のスポーツの活性を
目指しています。

TACHIRYU CONDITIONING GYM

＼野球に関する情報更新中!／
タチリュウ野球 Instagram



〒276-0046
千葉県八千代市大和田新田 138-6
TEL:047-407-0126





組織力強化

人材開発—協力会社とのパートナー体制強化

持続的な成長には人材育成が不可欠だと考えています。物事に前向きに取り組み、自ら考え行動し問題を解決できる社員育成を目指し、研修支援制度を導入するなど成長意欲ある社員をサポート。外国人材も積極的に採用し、ベテランから若手まで、幅広い人材層で多様化するお客様の要望に応える体制を整えたいと考えています。

また、大切なパートナーである協力会社との関係強化を大切に、協力会社と共に成長できる関係構築に取り組んでいます。

将来のビジョン

安全な施工・迅速な対応・確かな技術

当社では毎月必ず、現場安全パトロールを協力会社とともに実施しています。

この中で、3大災害(墜落・転落、建設機械災害、倒壊・崩壊)防止対策の徹底はもとより、安全ミーティングの実施や作業前の工具・機械類の点検、スタッフ間での連絡や合図を密接にするなど、当社スタッフから関係者一人ひとりにいたるまで万全の心構えでのぞんでいます。

こうした一人ひとりの意識の高さを確かな安全管理につなげています。私たちはこれからも、事故・災害ゼロに向けた現場体制を継続的に構築していきます。

安全に対する姿勢

建物に命を吹き込む。それが我々の仕事

**OUR STAFF IS
HERO!**

50年続く我社の誇りは、共に働くスタッフです



KENSHO



株式会社ケンショウ

代表取締役 熱田 敏広

営業種目

給排水衛生・空調・消火・換気等機管工事／電気設備工事
土木工事／とび・土木工事／鋼構造物工事／塗装工事
水道施設工事／解体工事／内装工事
自然エネルギー設備(太陽光発電／風力発電／地熱発電)

本 社

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル16F
TEL 06-6809-7676

東京本店

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-10 タワー麹町7F
TEL 03-6404-8223

東京メトロ東西線 浦安駅下車 徒歩2分



GOLD ベアースポーツ

〒279-0001

浦安市当代島1-1-8

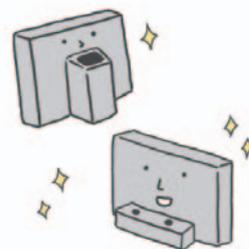
シティーベアーⅡ 1F



TEL : 047-351-7066

FAX : 047-351-7063

Tr-wing工法



地震にも強く、大切な土地を最大限に有効活用したい
そういった希望を解決すべく新しい擁壁工法を開発



敷地の有効活用！

底版がないことで、擁壁ギリギリまで建築基礎等の
施工が可能、土地の有効面積が増大！
さらに余分な工程やコストをカット！

あらゆる地盤に対応！

支柱に鋼管をいれることにより、高い強度を
実現自社開発の重機で様々な地形に対応可能



フェンスとの併用も可能！

擁壁にフェンスを設置することや化粧付き
擁壁にすることも可能



トラバース野球アカデミー開講

プロ経験のあるコーチが技術を教えます！！

対象：小学生以下 球場：トラバース高野川球場

<https://baseball.travers.co.jp/academy/>



「安心」で「安全」な暮らしを地盤から

 **トラバース**

〒272-0121

千葉県市川市末広 2-4-10

TEL047-359-4111 FAX047-359-4115

<https://www.travers.co.jp/>

JDS



希少な熟成原酒を取り扱う
焼酎ポトラーズ

焼酎

JDS.WORLD

AN INDEPENDENT SHOCHU BOTTLER
CURATING THE PRECIOUS SPIRITS



株式会社SHOCHU X
810-0041 福岡県福岡市中央区大名2-6-11
代表取締役 橋本啓亮【2012年市川シニア卒園生】
連絡先 hi@jds.world



宏陽株式会社

宏陽株式会社は、総合建設業として社会と歩む企業です。

会社概要

- 社名 宏陽株式会社（こうようかぶしきかいしゃ）
- 代表者 西川 秋仁（にしかわあきひと）
- 本社 〒007-0806 札幌市東区東苗穂6条1丁目17-33
TEL:011-214-9850 FAX:011-214-9851
- 設立 資本金 2002年 4000万円
- 従業員数 53名
- 支店・営業所 他 南幌支店・東京支店・東北支店・金沢支店
札幌営業所・旭川営業所・苫小牧営業所・釧路営業所
総務部・工事・鉄鋼部・埼玉資材センター
- HP <https://www.kouyo-co.jp/>

事業内容

- 各種防護柵・高欄・各種フェンス・門扉の販売・設計・施工



- 太陽光発電に関する施工・設計（基礎杭・架台・モジュール）等



- 重仮設・仮設ガードレール・足場・安全資材のリース・販売等



- 解体工事
- 各種杭・鋼矢板の打込み引抜き工事及び基礎杭の地中障害物除去(岩削工法)
- 備品・事務機器のリース・販売・設計(レイアウト)等 他



札幌ホーネッツは、活動を応援していただける協賛企業、個人サポーターを募集しています。

SPONSORS

宏陽株式会社、ヒロセ株式会社、有限会社マル小向工業、ワタキューセイモア株式会社、株式会社ビューパンス、株式会社ケイセイ、ミナト工業株式会社、道務資材株式会社、佐々木・広谷建設株式会社、Bryantbron、北開技研工業株式会社、株式会社クリエイトスポーツ・オハラ、株式会社クレオトラベル、株式会社北海道通信、UDトラック北海道株式会社、株式会社マルキンサトー、株式会社JAZZG、親栄電気工事株式会社、株式会社かしわ商事、白石建材創業株式会社、株式会社ハマース、株式会社信本建設、かのう園科・小児園科クリニック、あぶらち、株式会社東洋電気産業、大洋事務機株式会社、社会福祉法人愛敬園、むらおか研究所、社会保険労務士法人synergy、カツウラ建機株式会社、株式会社エルセカンド、ヒタットハウス円山店、Bar Forest、合同会社ダイニングホーン、肉居酒屋ひろしん家、株式会社ユウ塗装、中田工業株式会社、チャイルドマインティング合同会社、合同会社あんど、株式会社サイトウスポーツ、北海道ロードメンテナンス株式会社(順不同)

※2024年3月末現在



個人の方



法人の方

祝

市川リトルシニア

創立 50 周年 おめでとうございます



- 残土運搬処理業 •産業廃棄物収集運搬業 •一般土木請負工事業
- 重機オペレーター、ダンプドライバー 随時募集中



株式会社 AFB

代表取締役 渡邊 裕之

千葉県市川市高谷 1967-1

TEL 047-318-2996

FAX 047-318-2997



行徳で創業し50年を迎える京山。現代の名工にも選ばれた佐々木勝がまごころを込めて手造りしております。行徳に来た際はお土産に是非お立ち寄りください。

銘菓の武蔵饅頭・鴨場の月・塩どらやき、その他に季節の和菓子も揃えております。

下総行徳
京山



□ 妙典店

市川市富浜 2-5-3
☎047-389-8888

□ 行徳店

市川市行徳駅前 2-10-14
☎047-397-8718

BONESETTER 鍼灸整骨院A拓 ACUPUNCTURE

千葉県では数少ないルート治療認定院です。
100～200本の鍼を刺すことで、一般的な治療ではなかなか改善出来ないような根深い痛みをはじめ、アトピー性皮膚炎やアレルギー症状までも改善できる治療法です。野球肩・野球肘にも対応しており、プロの選手も受けている治療法です。

※要予約

月～金 (10:00～22:00)

土 (10:00～12:00)

日・祝 休診

千葉県市川市新浜1-16-11



ご予約はこちらから



TAKURO0212_ROUTE_THERAPIST



個人・法人印鑑
 (お急ぎ可能です)
 名刺はもちろん、
 各種印刷やっています。
 封筒・チラシ・パンフ
 伝票・挨拶状・年賀状
 ポスター・ラベル・看板
 プレート・名札・表札
 カッティング・Tシャツ
 ウェアプリント
 カレンダー・タオル
 コースター・箸袋
 オリジナルのぼり等。

はんこ屋さん21®

本八幡店 TEL047-325-6605



平日 9:30 ~ 19:00 | 日祝 hanko21motoyawata.com
 土曜 9:30 ~ 17:00 | 定休 ネット注文できます!

祝 市川リトルシニア創立50周年

きっとあなたのお役に立ちます。

●保険事業部（総合保険代理店）

- ☑あおいニッセイ同和損保
（自動車保険/火災保険/自賠責保険）
- ☑東京海上日動
（自動車保険/火災保険/自賠責保険）

お電話いただければすぐに伺います。

●自動車事業部

- ☑車検・一般整備・板金・塗装
- ☑新車・中古車販売（全車種取扱い）
- ・あおい優秀特約指定修理工場
- ・あんしんダイヤル
（緊急レッカーサービス /
事故・故障ロードサービス）

●不動産事業部 千葉県知事(4)第15389号

- ☑宅地建物取引業
- ☑建築フランチャイズ業務

●情報事業部

- ☑情報提供サービスに関する業務



株式会社

京葉VIPエンタープライズ

代表取締役 渋谷 晴光

〒272-0014 千葉県市川市田尻4-1-8
TEL 047-378-8833 FAX 047-377-0351
E-MAIL keiyovip@sunny.ocn.ne.jp

市川リトルシニアの50周年事業にあたり、
たくさんの方々からご協賛をいただきましたので、
ご紹介させていただきます。

ご協賛一覧

殿井 陸也	塚本 紘大	羽賀 理之
本田 啓将	相川 和人	相川 大斗
石田 英雅	江見 康秀	上田 晃大
田中 大資	田中 壮志	大瀧 重雄
相川 義弘	海老原 貢	河野 様
小泉 正人	石井 太崇	久間 勝晶
久間 滉介	山内 隆之	広藤 様
堀部 康平	原 彰吾	佐藤 様
国吉 哲也	堂園 晃揮	小泉 勝人
中嶋 努	中森 幸人	岩崎 薫

常総リトルシニア	浦安リトルシニア	九十九リトルシニア
四街道リトルシニア		

2024年11月25日現在

注：順不同、敬称略

編集後記

昭和 49 年（1974 年）に発足しました、市川シニアは 50 周年の佳節を迎えることが出来ました。

記念誌発行に際して、お忙しい中、ご寄稿や各代の紹介、資料、写真の作成、提供に快くご協力いただきましたこと、多くのご厚志を賜りましたことにも市川シニアに関わる皆様方の思いやお力を実感いたしました。多大なるご支援、ご尽力をいただきました皆様方に心より感謝申し上げます。

発行 2024 年 12 月 8 日

編集 市川リトルシニア野球協会
50 周年記念行事実行委員会

印刷 株式会社タマタイプ